

ICL・レーシックに関する アンケート調査レポート

発行日：2025年12月
発行元：ほんベククリニック眼科

1. 調査概要

- 調査目的: 視力矯正手術(ICL・レーシック)経験者の実態、選択理由、満足度、術後経過を把握し、これから手術を検討する層への客観的な判断材料を提供する。
- 調査期間: 2025年11月21日～12月4日
- 調査対象者: ICL・レーシック手術を受けたことのある男女30名
- 調査方法: インターネットでのアンケート調査
- 出典: ICLレーシックAQ

2. エグゼクティブ・サマリー

本調査では、視力矯正手術経験者30名を対象に、検討から術後までの実態を聴取した。全体として96.7%が「手術して良かった」と回答しており、視力矯正手術への満足度は極めて高い。術式別に見ると、レーシックは「費用」と「手軽さ(コンタクトの不快感解消)」が主な動機となっており、低～中価格帯(10～30万円)での施術が中心である。一方、ICLは「高額(50万円以上)」ながらも、「可逆性」「角膜を削らない安全性」を重視する層に選ばれており、術後の見え方に対する満足度が非常に高い傾向が見られた。副作用に関しては、レーシック群で「ドライアイ」、ICL群で「ハロー・グレア(光の乱反射)」が顕著な傾向として確認された。

3. 集計構造の説明

本レポートでは、Q5「受けた手術を教えてください」の回答に基づき、回答者を以下の2グループに分類して比較集計を行っている。

- 全体: 回答者全員(N=30)
- レーシック群: レーシック手術を受けた回答者(N=17)
- ICL群: ICL(眼内コンタクトレンズ)手術を受けた回答者(N=13)

4. 本編: 全設問詳細データ

Q1. 現在の年齢を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

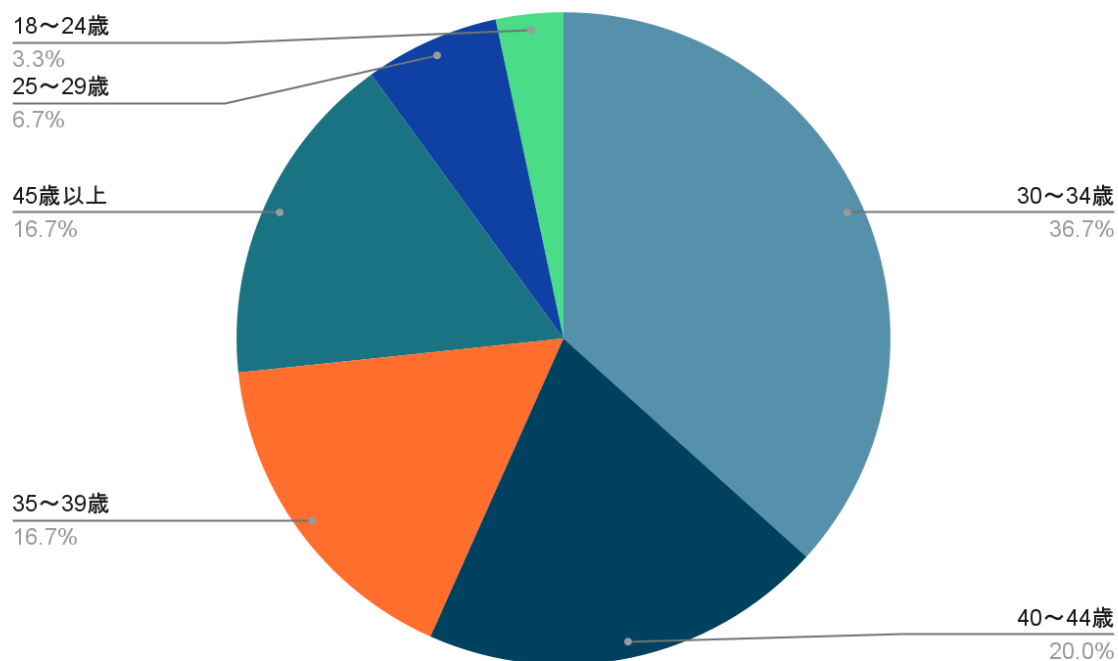
1) 事実

現在の年齢は、30～34歳が36.7%(11人)で最も多く、次いで40～44歳が20.0%(6人)、35～39歳および45歳以上が各16.7%(5人)である。20代は合計で10.0%となっている。

2) 表データ

年齢層	全体割合	全体人数
30～34歳	36.70%	11
40～44歳	20.00%	6
35～39歳	16.70%	5
45歳以上	16.70%	5
25～29歳	6.70%	2
18～24歳	3.30%	1
合計	100%	30

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

回答者の中心は30代～40代である。これは、経済的な余裕が生まれる時期であると同時に、老眼等のエイジングサインが出る前に視力を矯正しておきたいというニーズの高まりを示唆している。

Q2. ICL・レーシック手術を受けた年齢を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

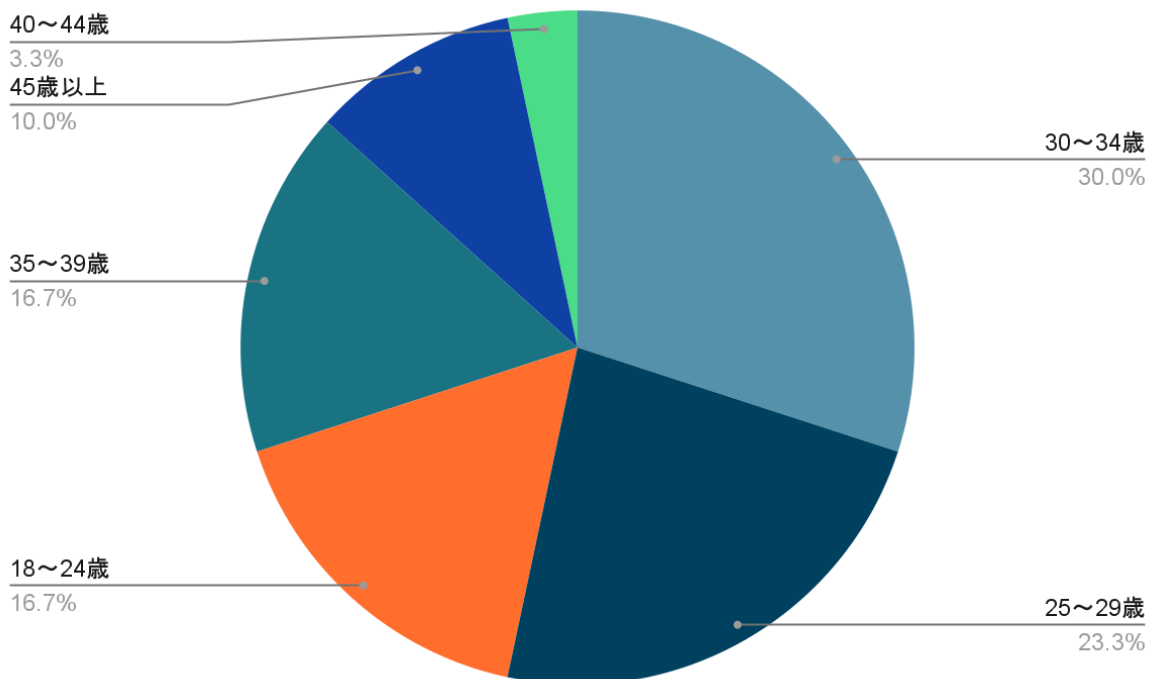
1) 事実

手術実施年齢は、30～34歳が30.0%（9人）で最多。次いで25～29歳が23.3%（7人）、18～24歳と35～39歳が各16.7%（5人）である。18～34歳の合計で70.0%を占める。

2) 表データ

手術実施年齢	全体割合	全体人数
30～34歳	30.00%	9
25～29歳	23.30%	7
18～24歳	16.70%	5
35～39歳	16.70%	5
45歳以上	10.00%	3
40～44歳	3.30%	1
合計	100%	30

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

Q1(現在の年齢)と比較して若年層の比率が高く、特に20代～30代前半での施術が主流である。「社会人生活の開始」や「ライフスタイルの変化」が手術決断のトリガーになっていると推測される。

Q3. 性別を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

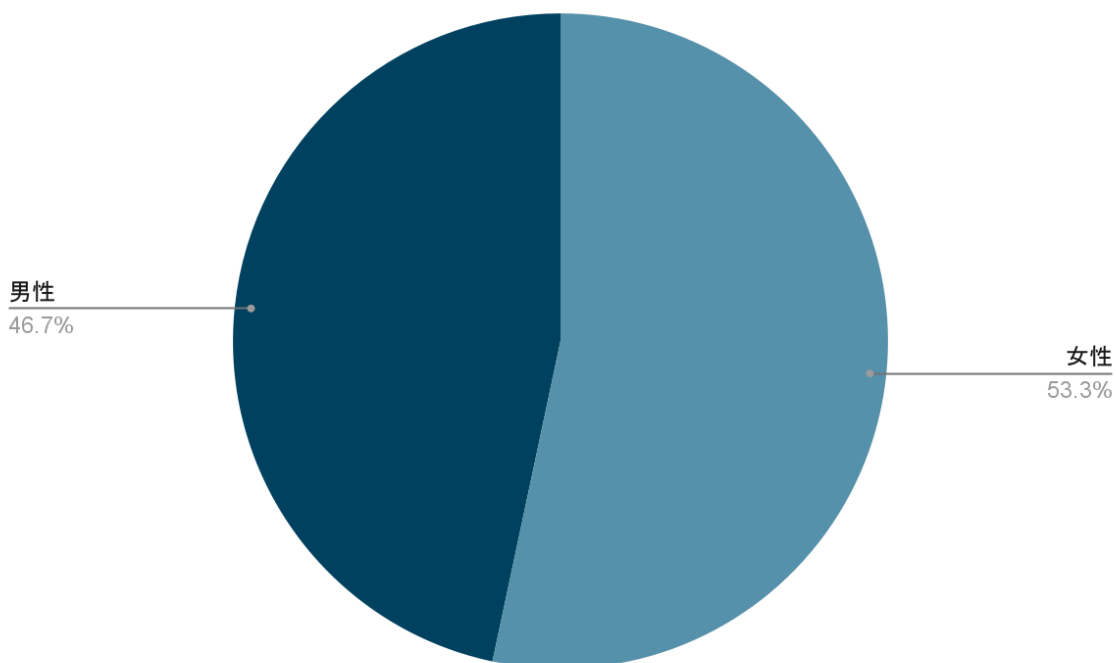
1) 事実

女性が53.3%(16人)、男性が46.7%(14人)である。

2) 表データ

性別	全体割合	全体人数
女性	53.30%	16
男男性	46.70%	14
合計	100%	30

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

男女比はほぼ半々であり、視力矯正へのニーズに性差はない。性別を問わず「コンタクト・眼鏡からの解放」は普遍的な価値として認識されている。

Q4. お住いの地域を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

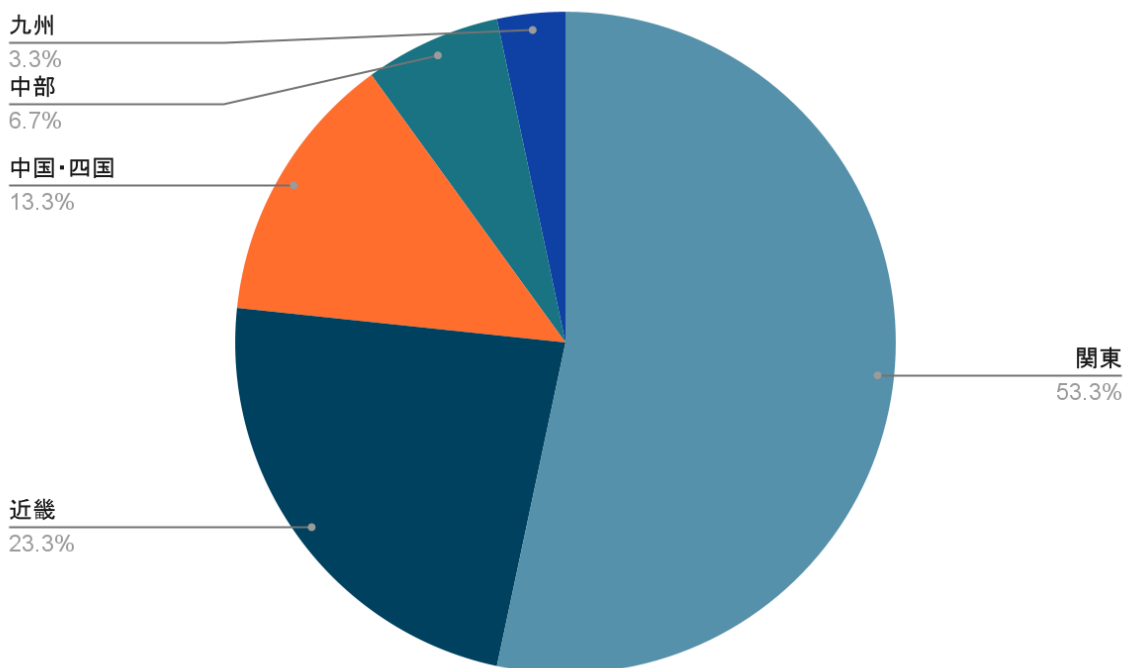
関東が53.3%(16人)で最も多く、次いで近畿が23.3%(7人)、中国・四国が13.3%(4人)となっています。

関東・近畿の大都市圏で全体の約8割(76.6%)を占めており、都市部在住者の割合が高い結果です。

2) 表データ

地域	全体割合	全体人数
関東	53.30%	16
近畿	23.30%	7
中国・四国	13.30%	4
中部	6.70%	2
九州	3.30%	1
その他・不明	0.00%	0
合計	100%	30

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

手術を提供する専門クリニックが大都市に集中しているため、回答者も関東・近畿エリアに偏っている。地方在住者にとっては、物理的なアクセスがハードルとなっている可能性がある。

Q5. 受けた手術を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

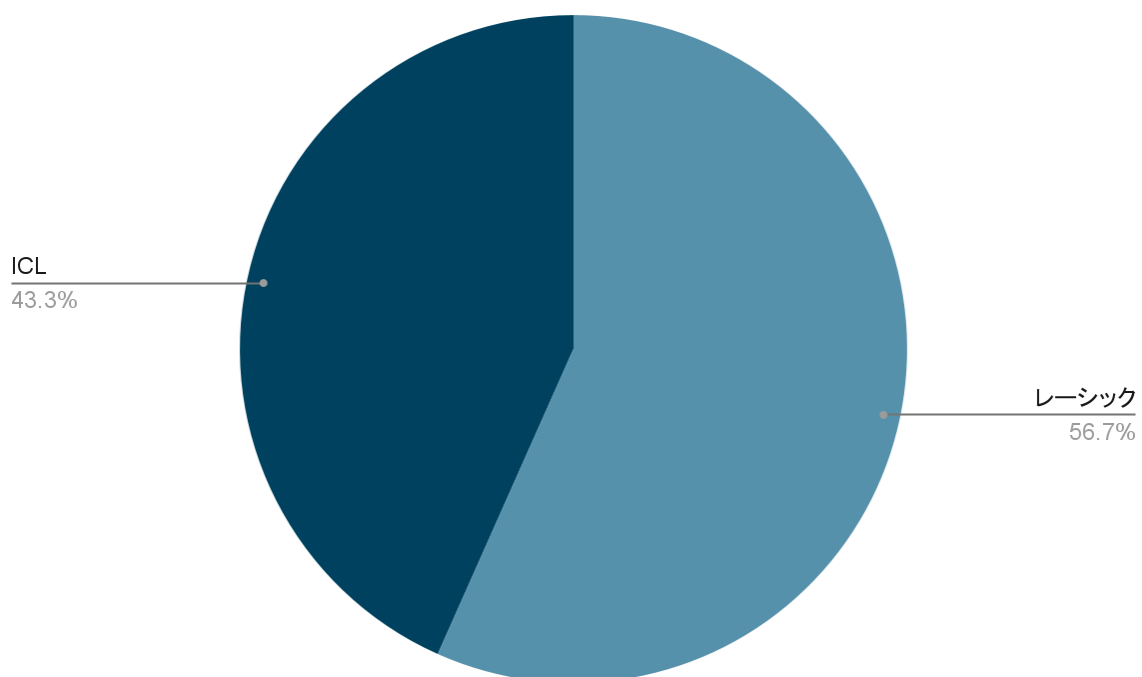
1) 事実

全体では、レーシックが56.7%(17人)、ICL(眼内コンタクトレンズ)が43.3%(13人)である。

2) 表データ

手術種類	全体割合	全体人数
レーシック	56.70%	17
ICL	43.30%	13
合計	100%	30

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

レーシックが依然として過半数を占めるが、ICLも4割強まで浸透している。市場において「安価で実績のあるレーシック」と「高機能・可逆性のICL」という選択肢の二極化が進んでいる。本設問を分岐点として以降の分析を行う。

Q6. 手術を検討した主な理由を教えてください。

(母数 N=30 / 複数回答)

1) 事実

全体では「コンタクトが面倒・不快」が38.8%(19件)で最も多く、次いで「裸眼で生活したかった」が32.7%(16件)となっています。

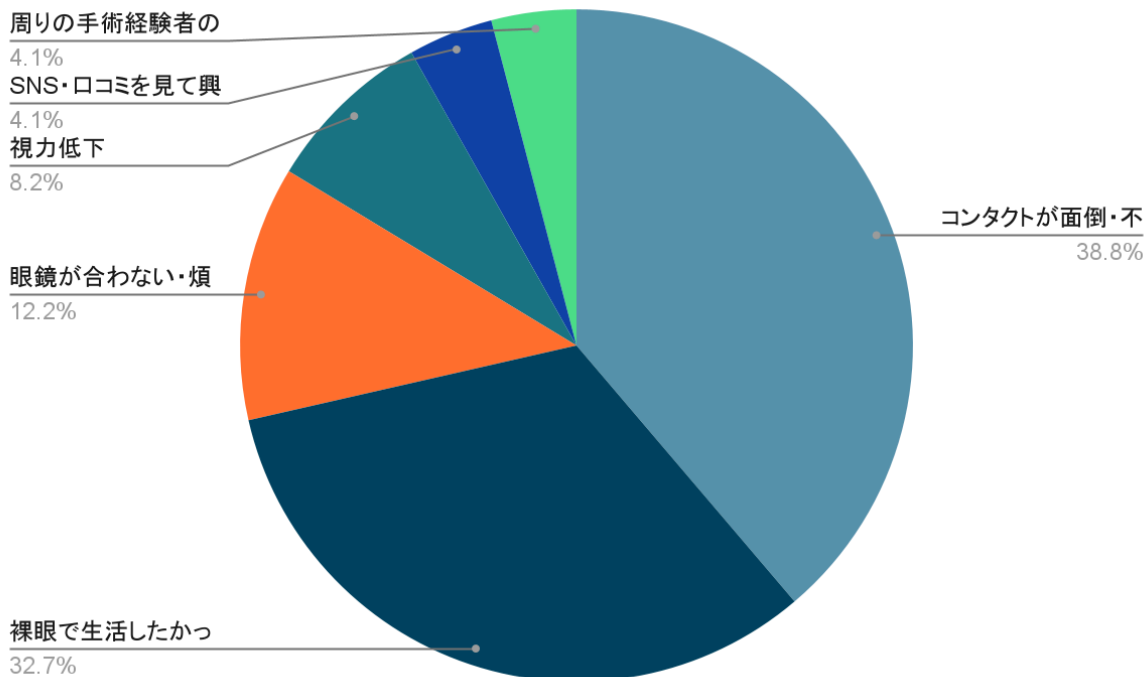
商品別に見ると、レーシック群では「コンタクトが面倒・不快」が44.0%と最多である一方、ICL群では「コンタクトが面倒・不快」「裸眼で生活したかった」がともに33.3%で並ぶ結果でした。

また、「SNS・ロコミを見て興味を持った」はICL群のみで一定数見られ、情報収集経路の違いがうかがえます。

2) 表データ

検討理由	全体割合	全体件数	レーシック割合	レーシック件数	ICL割合	ICL件数
コンタクトが面倒・不快	38.80%	19	44.00%	11	33.30%	8
裸眼で生活したかった	32.70%	16	32.00%	8	33.30%	8
眼鏡が合わない・煩わしい	12.20%	6	12.00%	3	12.50%	3
視力低下	8.20%	4	4.00%	1	12.50%	3
SNS・ロコミを見て興味を持った	4.10%	2	0.00%	0	8.30%	2
周りの手術経験者の影響	4.10%	2	8.00%	2	0.00%	0

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

「コンタクトの不快感」は共通の悩みだが、ICL群で「視力低下(強度近視)」や「SNS」を挙げる割合が高い。ICLは強度近視でコンタクトが限界に達した層や、情報感度の高い層に選ばれている可能性がある。

Q7. 手術検討時に、ICL・レーシックについて最初に調べた情報を教えてください。

(母数 N=30 / 複数回答)

1) 事実

全体では、「費用」が63.3%(19件)で最も多く、次いで「失敗リスク」が60.0%(18件)となっています。

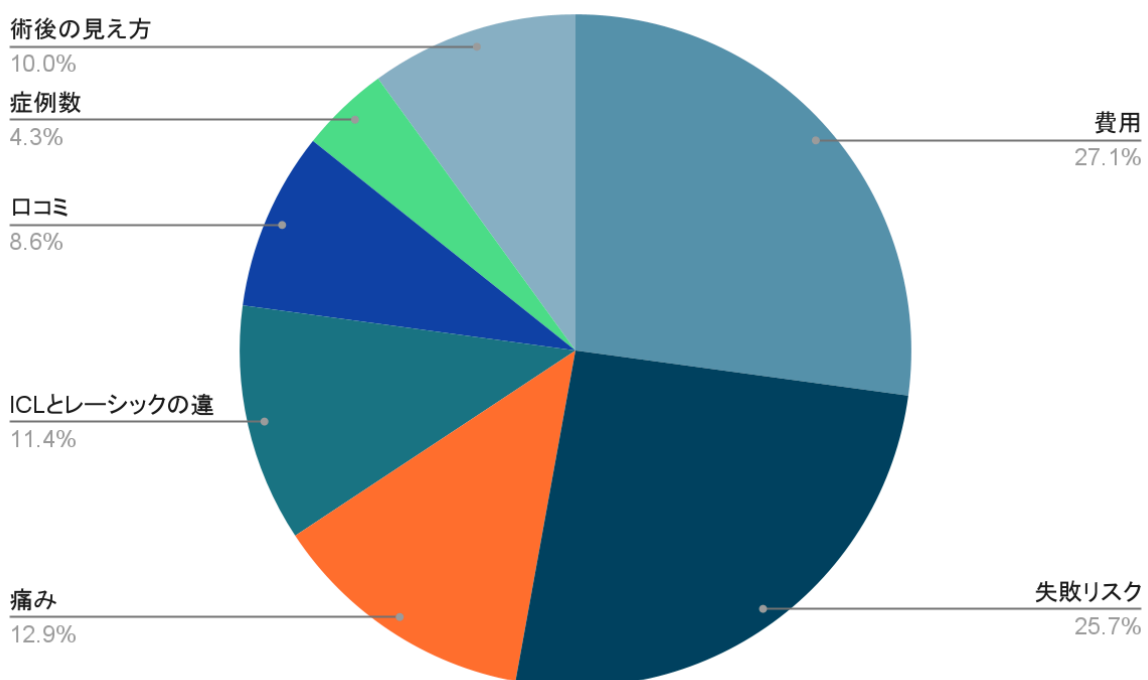
商品別に見ると、レーシック群では「費用」(64.7%)と「失敗リスク」(58.8%)が上位を占め、費用面とリスクのバランスを意識して情報収集が始まっている傾向が見られます。

一方、ICL群では「費用」と「失敗リスク」がともに61.5%で並び、「ICLとレーシックの違い」(38.5%)も比較的多く挙げられました。ICLでは、手術内容や方式の違いを理解した上で検討を進める姿勢がうかがえます。

2) 表データ

最初に調べた情報	全体割合	全体件数	レーシック割合	レーシック件数	ICL割合	ICL件数
費用	63.30%	19	64.70%	11	61.50%	8
失敗リスク	60.00%	18	58.80%	10	61.50%	8
痛み	30.00%	9	29.40%	5	30.80%	4
ICLとレーシックの違い	26.70%	8	17.60%	3	38.50%	5
ロコミ	20.00%	6	23.50%	4	15.40%	2
症例数	10.00%	3	17.60%	3	0.00%	0
術後の見え方	23.30%	7	29.40%	5	15.40%	2

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

レーシック検討者は価格感度が高く、まず費用を確認する。一方、ICL検討者は「そもそもレーシックと何が違うのか」「安全性はどうか」という機能・リスク面から情報収集を始める傾向があり、検討プロセスに明確な違いがある。

Q8. 手術を受けるクリニックを決める際、比較したクリニック数を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

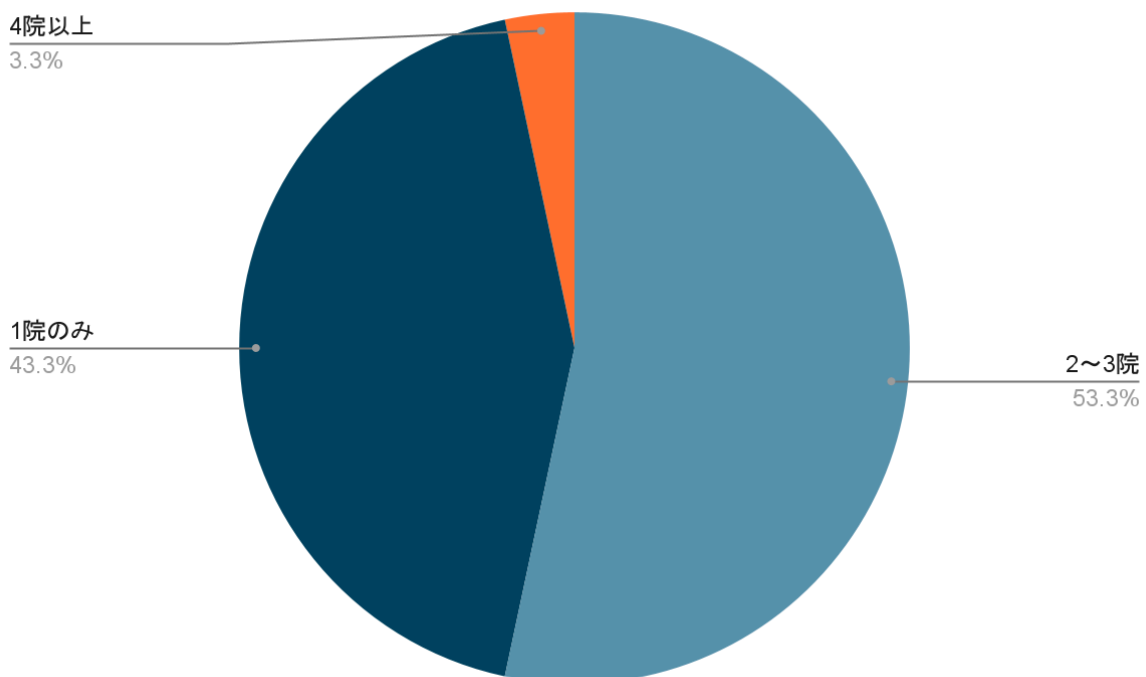
全体では「2～3院」が53.3%(16人)、「1院のみ」が43.3%(13人)。

商品別では、レーシック群は「1院のみ」と「2～3院」が同数(47.1%)だが、ICL群は「2～3院」が61.5%、「1院のみ」が38.5%であった。

2) 表データ

比較クリニック数	全体割合	全体人数	レーシック割合	レーシック人数	ICL割合	ICL人数
2～3院	53.30%	16	47.10%	8	61.50%	8
1院のみ	43.30%	13	47.10%	8	38.50%	5
4院以上	3.30%	1	6%	1	0.00%	0
合計	100.00%	30	100.00%	17	100.00%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICL群の方が複数クリニックを比較する傾向が強い。手術費用が高額であるため、失敗したくないという心理から、より慎重なクリニック選び(セカンドオピニオンなど)を行っていると考えられる。

Q9. 実際に比較したクリニックを選んでください。

(母数 N=30 / 複数回答)

1) 事実

全体では、「品川近視クリニック」が66.7%(20件)で最も多く、次いで「地域の一般眼科」が36.7%(11件)となっています。

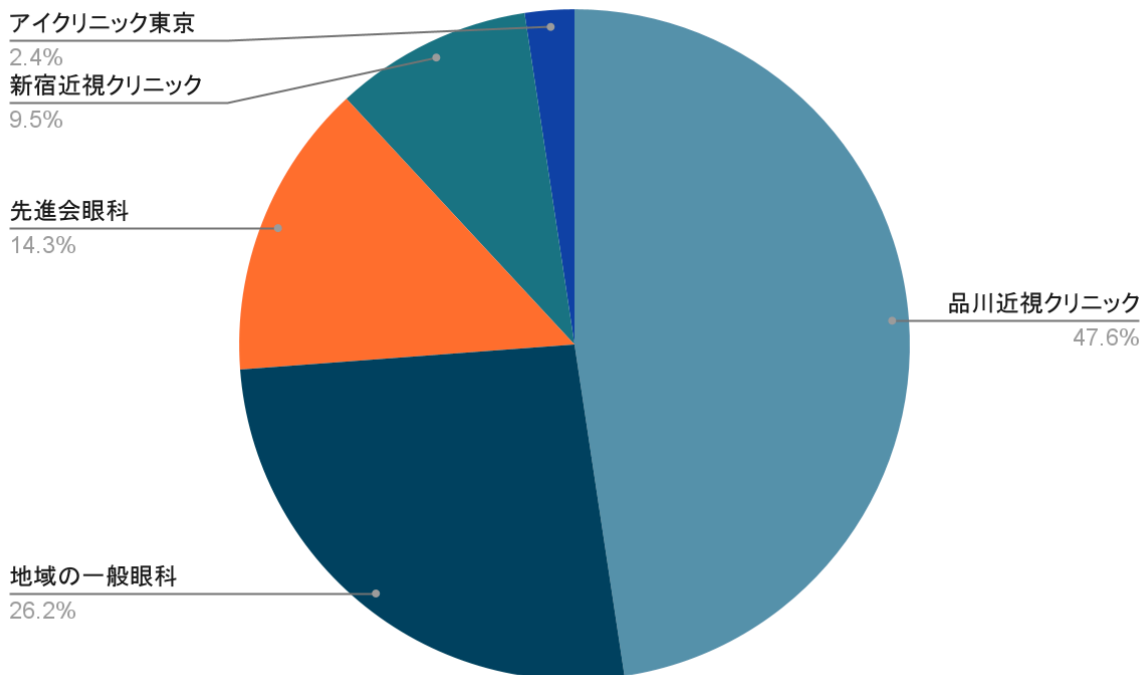
商品別に見ると、レーシック群では「品川近視クリニック」(58.8%)と「地域の一般眼科」(47.1%)が比較的拮抗しており、大手専門クリニックと身近な眼科の両方を比較対象としている様子がうかがえます。

一方、ICL群では「品川近視クリニック」が76.9%と突出しており、次いで「先進会眼科」(38.5%)が続きました。ICLでは、専門性の高いクリニックを中心に比較が行われている傾向が見られます。

2) 表データ

比較したクリニック	全体割合	全体件数	レーシック割合	レーシック件数	ICL割合	ICL件数
品川近視クリニック	66.70%	20	58.80%	10	76.90%	10
地域の一般眼科	36.70%	11	47.10%	8	23.10%	3
先進会眼科	20.00%	6	5.90%	1	38.50%	5
新宿近視クリニック	13.30%	4	17.60%	3	7.70%	1
アイクリニック東京	3.30%	1	0.00%	0	7.70%	1

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

レーシックは一般眼科でも比較対象となるが、ICLは大手専門クリニックへの集中度が極めて高い。ICLの執刀には認定医資格や専用設備が必要であり、地域の眼科では対応できないケースが多いため、選択肢が大手専門院に限られる実態がある。

Q10. 実際に手術を受けたクリニック名を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

全体で「品川近視クリニック」が50.0%(15人)。

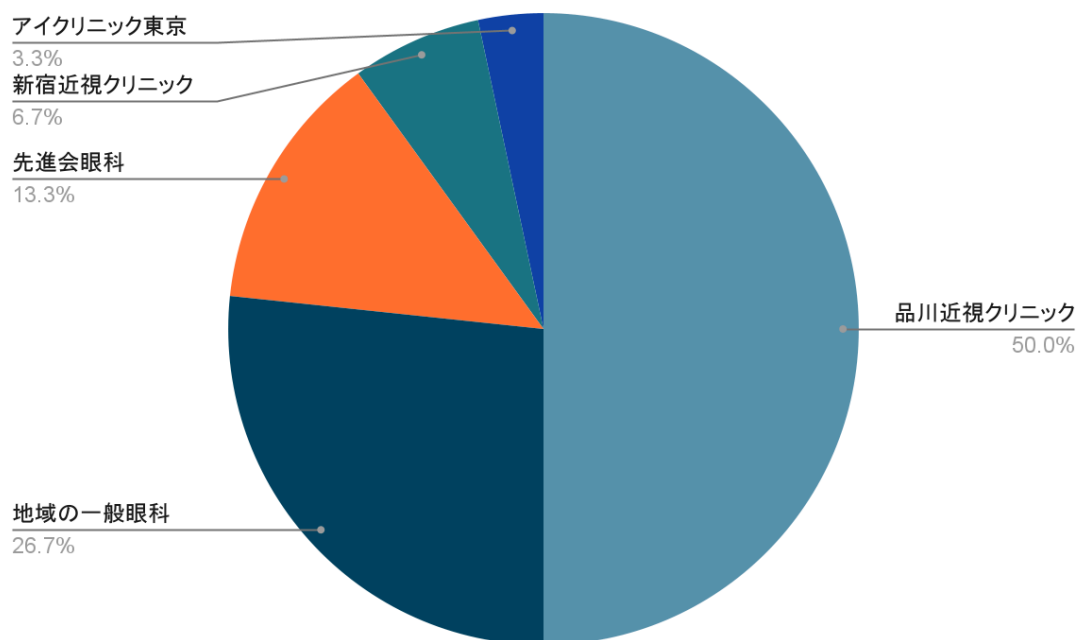
商品別では、レーシック群は「品川近視クリニック」41.2%、「地域の一般眼科」35.3%。ICL群は「品川近視クリニック」61.5%、「先進会眼科」23.1%、「アイクリニック東京」7.7%であり、ICL群で地域眼科を選んだ回答は0件であった。

2) 表データ

決定クリニック	全体割合	全体人数	レーシック割合	レーシック人数	ICL割合	ICL人数
品川近視クリニック	50.00%	15	41.20%	7	61.50%	8
地域の一般眼科	26.70%	8	35.30%	6	0.00%	0
先進会眼科	13.30%	4	5.90%	1	23.10%	3

新宿近視クリニック	6.70%	2	11.80%	2	0.00%	0
アイクリニック東京	3%	1	0.00%	0	7.70%	1
その他	3.30%	1	5.90%	1	7.70%	1
合計	100%	30	100.00%	17	100.00%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLの手術実施機関は大手専門院に完全に集中している。一方、レーシックは地域の眼科でも一定のシェアを持っており、「近所で手軽に」というニーズに応えている様子がうかがえる。

Q11. クリニックを決めた理由のうち上位3つを選んでください。

(母数 N=30 / 複数回答)

1) 事実

全体では、「症例数」が70.0%(21件)で最も多く、次いで「立地・通いやすさ」が43.3%(13件)、「口コミ」が40.0%(12件)となっています。

商品別に見ると、レーシック群では「症例数」(70.6%)に加え、「費用」(52.9%)や「立地・通いやすさ」(47.1%)が上位に挙がっており、分かりやすい実績やコスト面を重視する傾向が見られます。

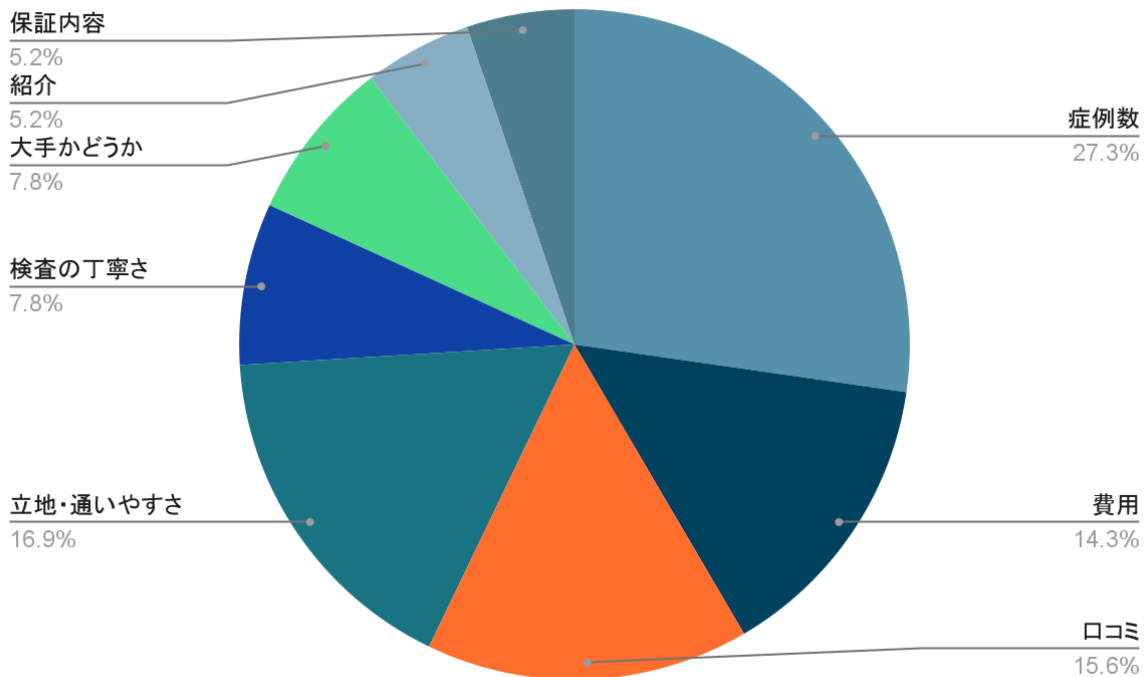
一方、ICL群でも「症例数」(69.2%)は最上位ですが、「費用」は15.4%と低く、「検査の丁寧さ」(

30.8%)や「保証内容」(15.4%)といった医療体制・安心感に関わる要素が相対的に重視されています。

2) 表データ

決定理由	全体割合	全体件数	レーシック割合	レーシック件数	ICL割合	ICL件数
症例数	70.00%	21	70.60%	12	69.20%	9
費用	36.70%	11	52.90%	9	15.40%	2
口コミ	40.00%	12	41.20%	7	38.50%	5
立地・通いやすさ	43.30%	13	47.10%	8	38.50%	5
検査の丁寧さ	20.00%	6	11.80%	2	30.80%	4
大手かどうか	20.00%	6	17.60%	3	23.10%	3
紹介	13.30%	4	17.60%	3	7.70%	1
保証内容	13.30%	4	11.80%	2	15.40%	2

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

レーシックは「価格競争」の側面があるが、ICLは「品質・信頼競争」である。ICLユーザーは高額な費用を払う分、安さよりも「しっかり検査してくれるか」「実績はあるか」という安心感を購買決定要因としている。

Q12. 適応検査や手術前検査のわかりやすさに関してあてはまるものを教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

「とても分かりやすい」と回答した割合は、ICL群が53.8%(7人)、レーシック群が29.4%(5人)となっており、ICL群のほうが説明の理解度が高い傾向が見られます。

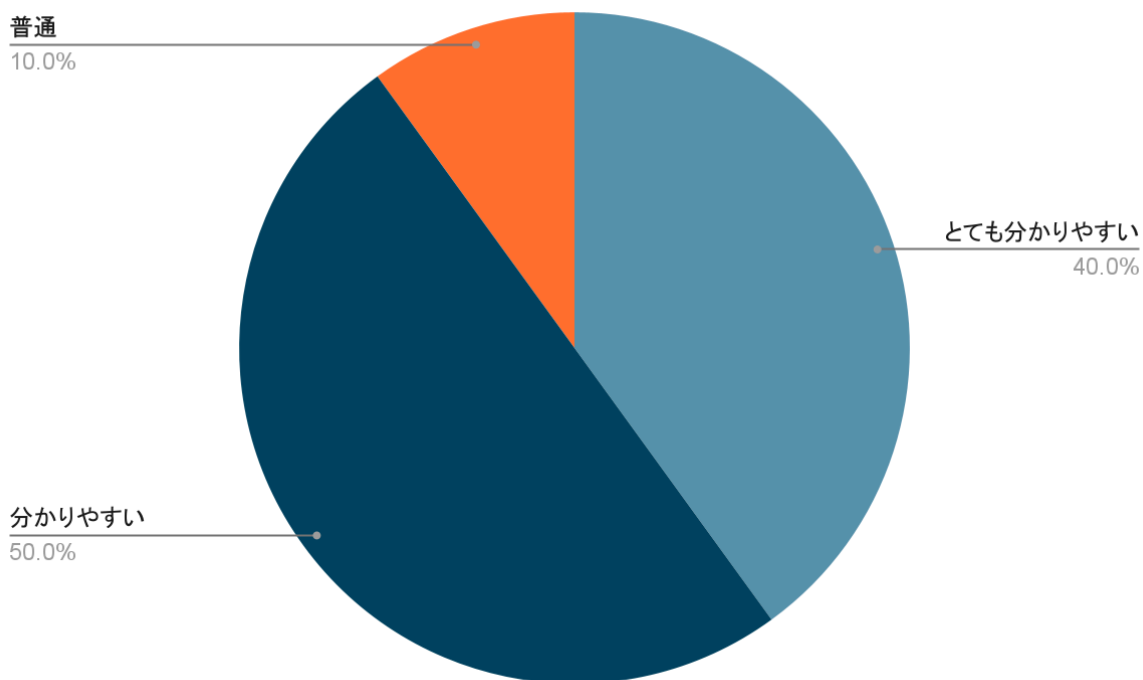
一方で「分かりやすい」を含めた肯定的評価(とても分かりやすい+分かりやすい)は、レーシック群が82.3%、ICL群が100%となっており、両群とも全体としては高い理解度が確保されています。

2) 表データ

検査の分かりやすさ	全体割合	全体人数	レーシック割合	レーシック人数	ICL割合	ICL人数
とても分か	40.00%	12	29.40%	5	53.80%	7

りやすい						
分かりやすい	50.00%	15	52.90%	9	46.20%	6
普通	10.00%	3	17.60%	3	0.00%	0
合計	100%	30	100%	17	100%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLは手術内容が複雑であり、費用も高額なため、クリニック側がカウンセリングやリスク説明に多くの時間を割いている可能性がある。その結果、患者の理解度が深まり、高い評価につながっていると推測される。

Q13. 手術にかかった費用の総額を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

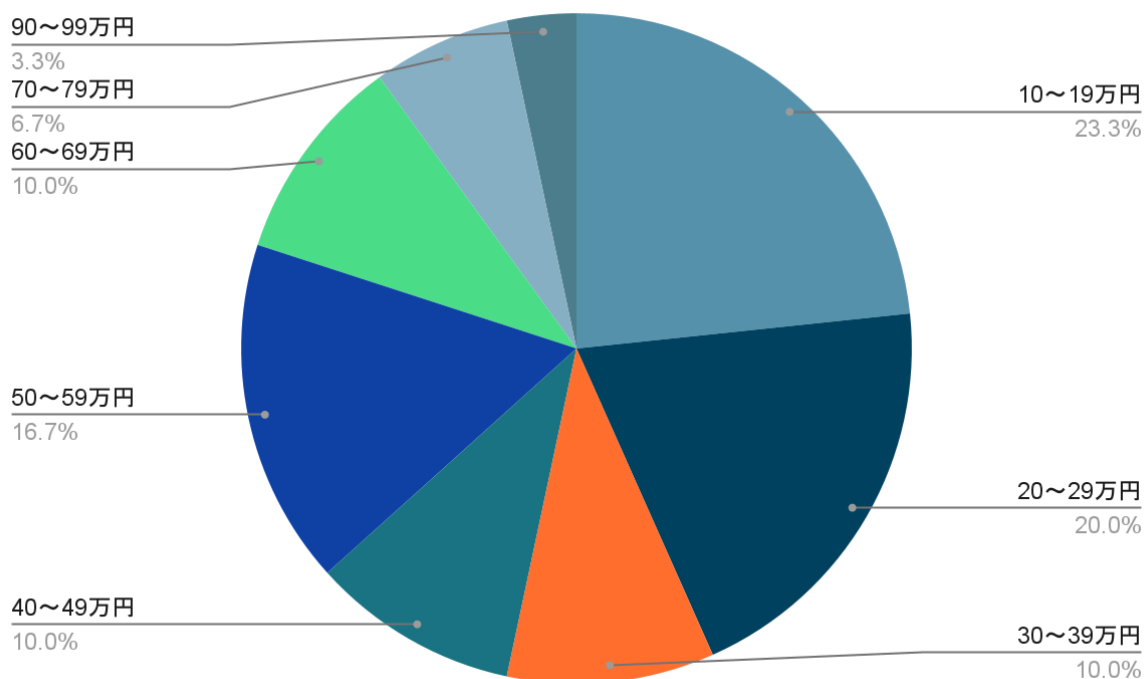
1) 事実

レーシック群は「10～29万円」の範囲に70.6%が集中している。
一方、ICL群は「50万円以上」が76.9%を占め、最多層は「50～59万円」(30.8%)である。

2) 表データ

費用総額	全体割合	全体人数	レーシック割合	レーシック人数	ICL割合	ICL人数
10～19万円	23.30%	7	35.30%	6	7.70%	1
20～29万円	20.00%	6	35.30%	6	0.00%	0
30～39万円	10.00%	3	11.80%	2	7.70%	1
40～49万円	10.00%	3	11.80%	2	7.70%	1
50～59万円	16.70%	5	5.90%	1	30.80%	4
60～69万円	10.00%	3	0.00%	0	23.10%	3
70～79万円	6.70%	2	0.00%	0	15.40%	2
90～99万円	3.30%	1	0.00%	0	7.70%	1
合計	100%	30	100%	17	100%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

価格帯は完全に二極化している。予算30万円以下ならレーシック、50万円以上許容できるならICLという明確な市場セグメントが存在する。ICL群の10-19万円(1名)はモニター価格等の特異値の可能性がある。

Q14. 手術費用の総額の中に含まれる項目をすべて選んでください。

(母数 N=30 / 複数回答)

1) 事実

全体では「手術自体の料金」が86.7%(26件)で最も多く、次いで「適応検査費用」(70.0%)、「手術前検査費用」「点眼薬・眼軟膏などの薬剤費」(いずれも60.0%)が続いています。

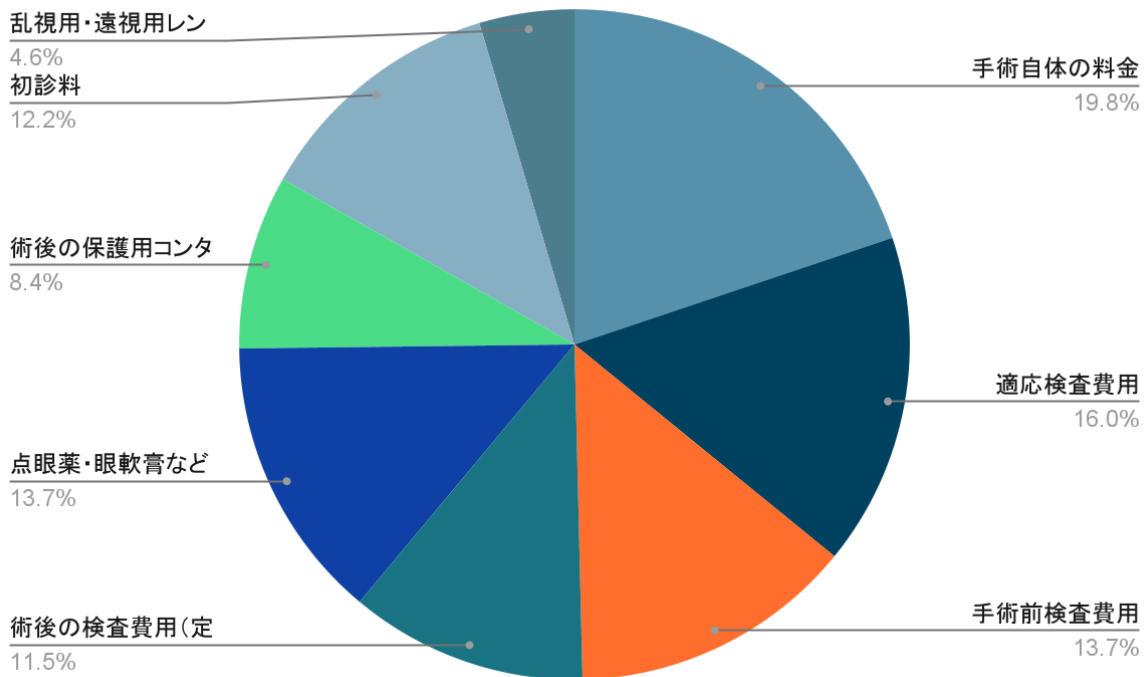
商品別に見ると、レーシック群では「手術自体の料金」が94.1%とほぼ全員に含まれており、「初診料」(64.7%)の割合も比較的高くなっています。

一方、ICL群では「術後の検査費用(定期検診)」が61.5%とレーシック群(41.2%)より高く、また「乱視用・遠視用レンズ追加費用」はICL群のみで46.2%に発生しており、費用構成の違いが明確に見られます。

2) 表データ

費用内訳	全体割合	全体件数	レーシック割合	レーシック件数	ICL割合	ICL件数
手術自体の料金	86.70%	26	94.10%	16	76.90%	10
適応検査費用	70.00%	21	70.60%	12	69.20%	9
手術前検査費用	60.00%	18	47.10%	8	76.90%	10
術後の検査費用(定期検診)	50.00%	15	41.20%	7	61.50%	8
点眼薬・眼軟膏などの薬剤費	60.00%	18	52.90%	9	69.20%	9
術後の保護用コンタクト・眼帯	36.70%	11	29.40%	5	46.20%	6
初診料	53.30%	16	64.70%	11	38.50%	5
乱視用・遠視用レンズ追加費用	20.00%	6	0.00%	0	46.20%	6

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLは基本料金に加え、レンズのカスタマイズ(乱視用など)による追加費用が発生しやすい構造にある。また、術後検査費用がパックになっているケースが多く、長期的なケアコストが含まれている傾向がある。

Q15. 費用に対する満足感を選んでください。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

ICL群では「とても満足」が30.8%(4人)、「満足」が61.5%(8人)となっており、**満足以上の合計は92.3%**に達しています。

レーシック群でも「とても満足」が29.4%(5人)、「満足」が58.8%(10人)で、**満足以上は88.2%となりました。

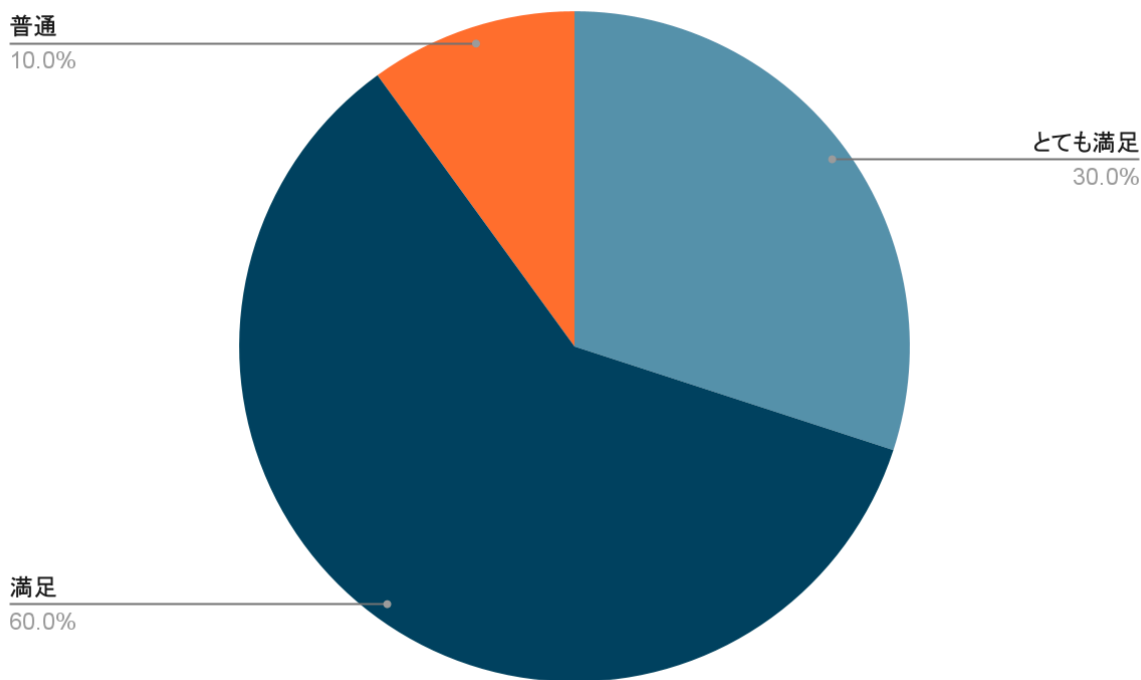
全体で見ると、「満足」「とても満足」を合わせた割合は90.0%**となっており、費用面に対する評価は概ね高い水準にあります。

2) 表データ

費用満足度	全体割合	全体人数	レーシック割合	レーシック人数	ICL割合	ICL人数
とても満足	30.00%	9	29.40%	5	30.80%	4
満足	60.00%	18	58.80%	10	61.50%	8

普通	10.00%	3	11.80%	2	7.70%	1
合計	100%	30	100%	17	100%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLはQ13で見た通り高額だが、費用満足度はレーシック以上に高い。「高いが、それだけの価値がある」とユーザーが認識しており、費用対効果(コストパフォーマンス)の評価は金額の多寡に比例していない。

Q16. 手術後の通院回数を選んでください。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

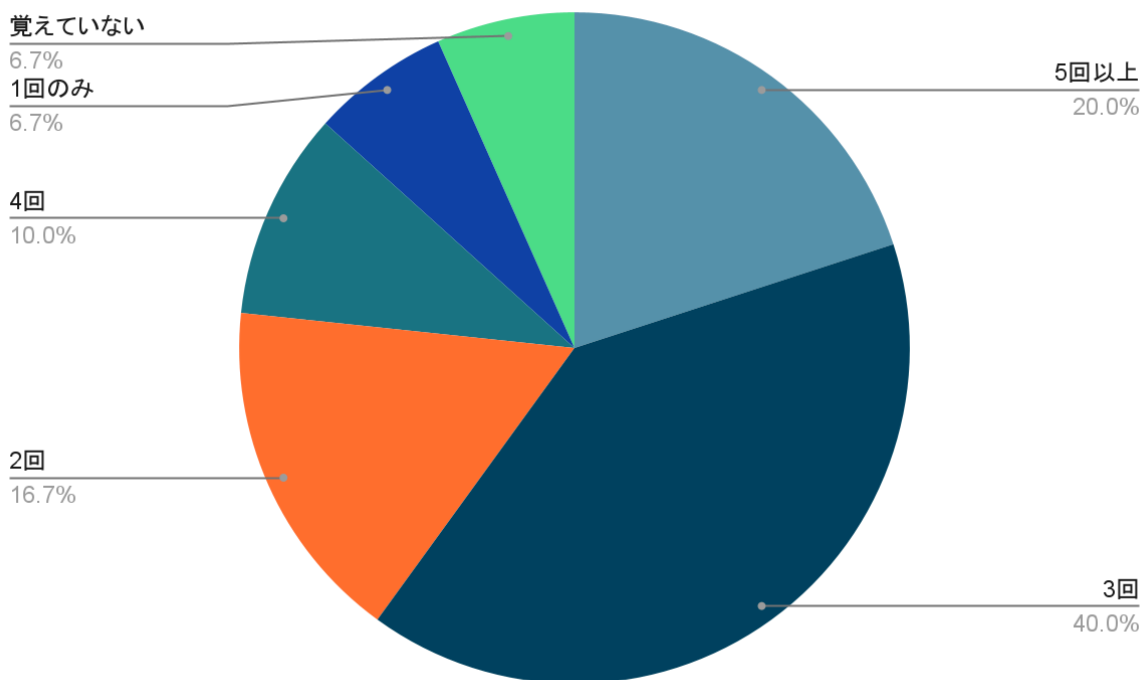
全体では「3回」が40.0%(12人)で最も多く、次いで「5回以上」が20.0%(6人)となっています。商品別に見ると、レーシック群では「3回」が47.1%(8人)で最多である一方、ICL群では「5回以上」が38.5%(5人)で最も多く、ICLの方が通院回数が多い傾向が見られます。

2) 表データ

通院回数	全体割合	全体人数	レーシック割	レーシック人	ICL割合	ICL人数
------	------	------	--------	--------	-------	-------

			合	数		
5回以上	20.00%	6	5.90%	1	38.50%	5
3回	40.00%	12	47.10%	8	30.80%	4
2回	16.70%	5	17.60%	3	15.40%	2
4回	10.00%	3	11.80%	2	7.70%	1
1回のみ	6.70%	2	11.80%	2	0.00%	0
覚えていない	6.70%	2	5.90%	1	7.70%	1
合計	100.00%	30	100.00%	17	100.00%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLは眼内にレンズを挿入するため、位置ズレや眼圧上昇がないか等、術後の経過観察が慎重に行われる。検討者は術後の通院負担(スケジュール確保)を考慮する必要がある。

Q17. 交通費・宿泊補助を利用しましたか。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

補助制度を「利用した」と回答した人は全体で6.7%(2人)にとどまり、いずれもICL群(15.4%)でした。レーシック群での利用者は0人です。

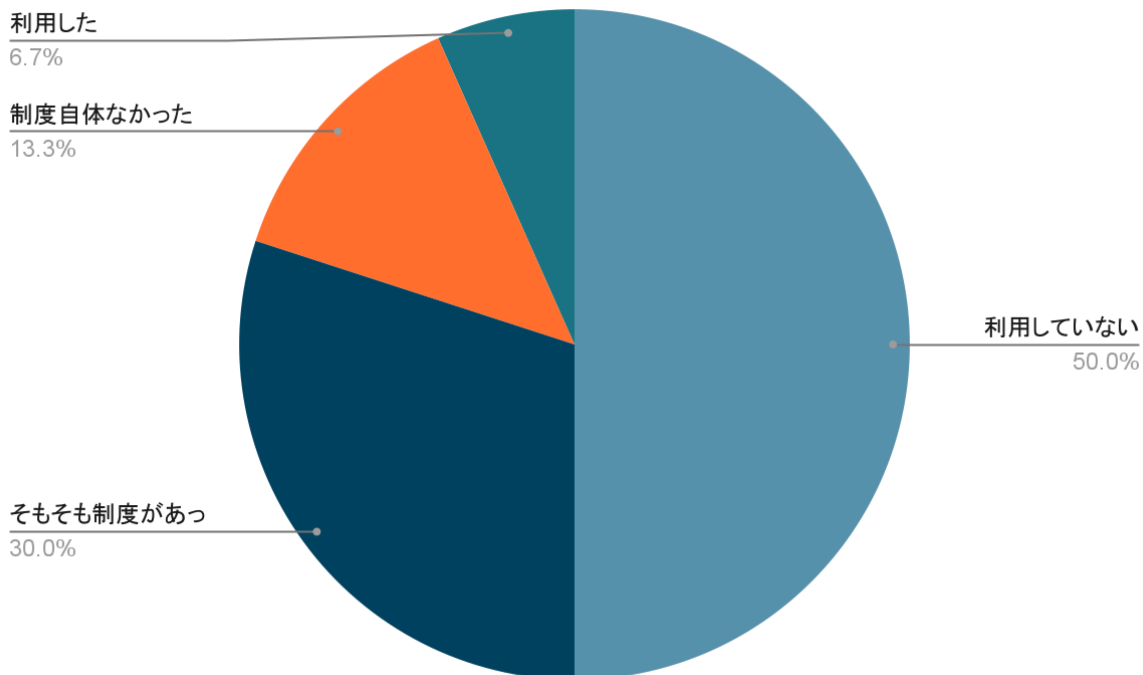
一方で、「利用していない」が全体の50.0%(15人)、「そもそも制度があったか不明」が30.0%(9人)を占めており、補助制度の認知自体が十分に浸透していない状況がうかがえます。

また、「制度自体なかった」と回答した人も全体で13.3%(4人)存在し、制度の有無や内容がクリニック・勤務先によって異なる可能性が示唆されます。

2) 表データ

補助利用	全体割合	全体人数	レーシック割合	レーシック人数	ICL割合	ICL人数
利用していない	50.00%	15	52.90%	9	46.20%	6
そもそも制度があったか不明	30.00%	9	41.20%	7	15.40%	2
制度自体なかった	13.30%	4	5.90%	1	23.10%	3
利用した	6.70%	2	0.00%	0	15.40%	2
合計	100%	30	100%	17	100%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLは施術できるクリニックが大都市に限られるため、遠方からの来院者が補助制度を利用するケースが発生している。レーシックは近隣で済ませるか、補助対象額に達しない場合が多いと推測される。

Q18. 術後に出た症状をすべて選んでください。

(母数 N=30 / 複数回答)

1) 事実

全体では「ハロー(光の輪)」が60.0%(18件)で最も多く、次いで「グレア(眩しさ)」が56.7%(17件)、「ドライアイ」が50.0%(15件)となっています。

商品別に見ると、ICL群では「ハロー」「グレア」「ドライアイ」がいずれも61.5%で並び、光に関する症状が複合的に出やすい傾向が見られます。

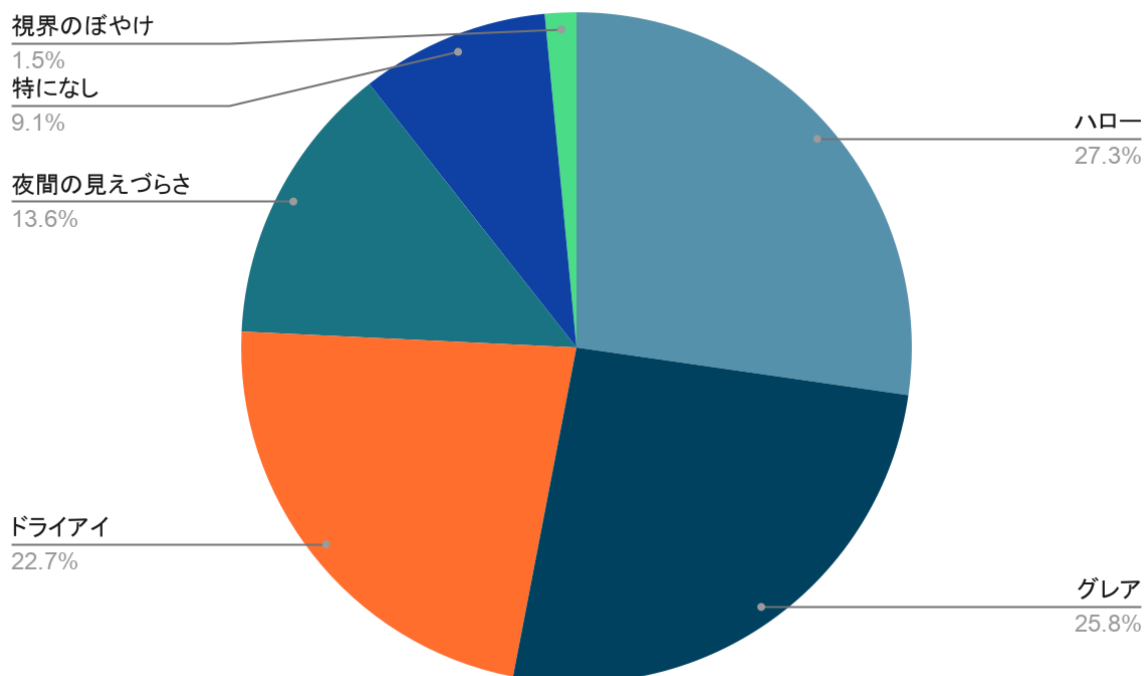
一方、レーシック群でも「ハロー」は58.8%と高水準ですが、「ドライアイ」(41.2%)や「グレア」(52.9%)が続いており、光症状に加えてドライアイの訴えが比較的多い点が特徴です。

2) 表データ

術後症状	全体割合	全体件数	レーシック割合	レーシック件数	ICL割合	ICL件数
ハロー	60.00%	18	58.80%	10	61.50%	8

グレア	56.70%	17	52.90%	9	61.50%	8
ドライアイ	50.00%	15	41.20%	7	61.50%	8
夜間の見えづらさ	30.00%	9	29.40%	5	30.80%	4
特になし	20.00%	6	23.50%	4	15.40%	2
視界のぼやけ	3.30%	1	0.00%	0	7.70%	1

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

手術方式による副作用の違いが明確に出ている。ICLはレンズの構造上、光の乱反射(ハロー・グレア)がほぼ必発の仕様となっている。レーシックは角膜切断による神経への影響からドライアイやハローが出やすい。

Q19. 症状はどのくらいの期間続きましたか。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

全体では、「1週間以上」と「今は症状は出ていない」がともに23.3%(各7人)で最も多くなっています。

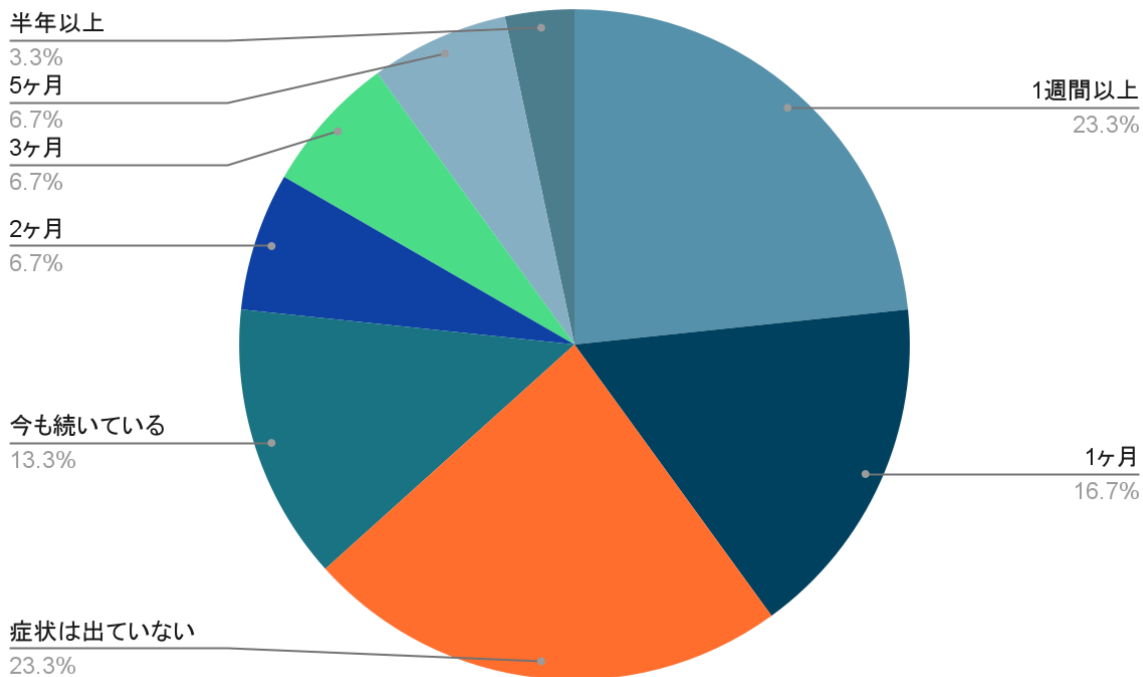
商品別に見ると、レーシック群では「1週間以上」と「今は症状は出ていない」がともに29.4%(各5人)で最多となり、比較的早期に落ち着く、または症状を自覚しなくなる人が多い傾向が見られます。

一方、ICL群では「2ヶ月」「5ヶ月」(各15.4%)、「半年以上」(7.7%)といった中長期にわたる回答が分散しており、症状の自覚期間がやや長引くケースが一定数存在することが分かります。

2) 表データ

症状持続 期間	全体割合	全体人数	レーシック割 合	レーシック人 数	ICL割合	ICL人数
1週間以上	23.30%	7	29.40%	5	15.40%	2
1ヶ月	16.70%	5	17.60%	3	15.40%	2
今は症状 は出ていな い	23.30%	7	29.40%	5	15.40%	2
今も続いて いる	13.30%	4	17.60%	3	7.70%	1
2ヶ月	6.70%	2	0.00%	0	15.40%	2
3ヶ月	6.70%	2	5.90%	1	7.70%	1
5ヶ月	6.70%	2	0.00%	0	15.40%	2
半年以上	3.30%	1	0.00%	0	7.70%	1
合計	100%	30	100%	17	100%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICL特有のハロー・グレアは、脳が光の見え方に慣れる(ニューロアダプテーション)まで時間を要するため、症状を感じる期間が数ヶ月単位に及ぶことが多いと考えられる。

Q20. 術後の見え方の満足度を教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

ICL群では「とても満足している」が53.8%(7人)、「満足している」が46.2%(6人)となっており、不満・普通の回答は見られません。

一方、レーシック群では「とても満足している」が52.9%(9人)、「満足している」が35.3%(6人)である一方、「普通」「不満」がそれぞれ5.9%ずつ存在しています。

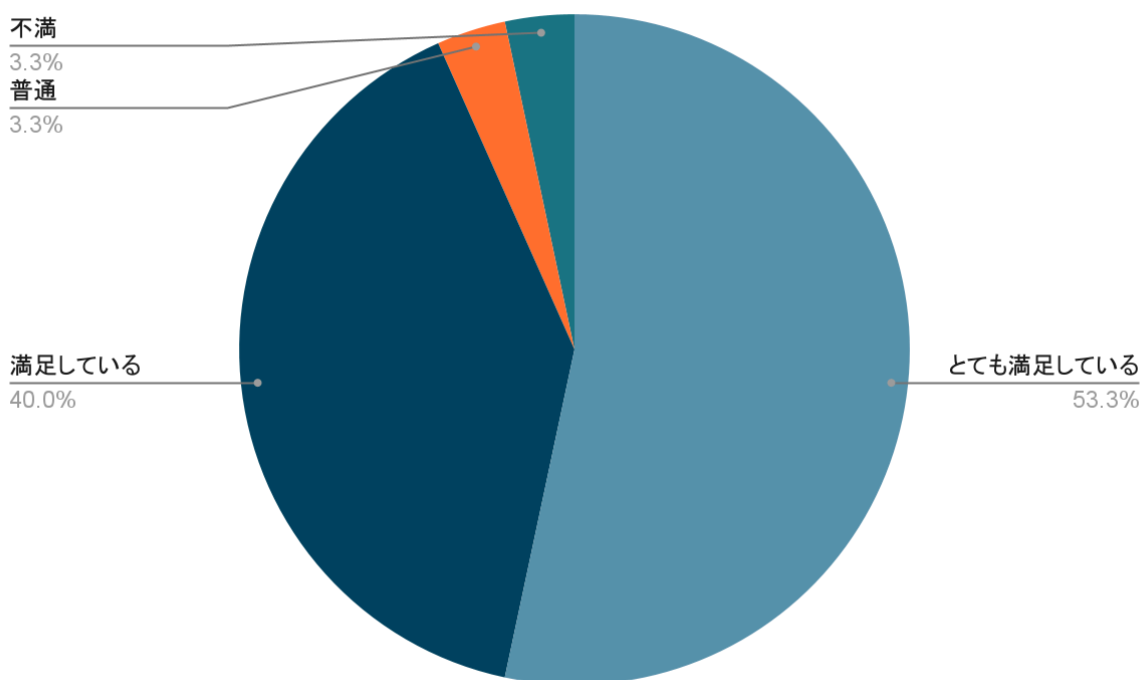
全体で見ると、「満足している」「とても満足している」を合わせた割合は**93.3%**に達しており、見え方に対する満足度は総じて高い結果です。

2) 表データ

見え方満足度	全体割合	全体人数	レーシック割合	レーシック人数	ICL割合	ICL人数
とても満足している	53.30%	16	52.90%	9	53.80%	7

満足している	40.00%	12	35.30%	6	46.20%	6
普通	3.30%	1	5.90%	1	0.00%	0
不満	3.30%	1	5.90%	1	0.00%	0
合計	100%	30	100%	17	100%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLの見え方の質(Quality of Vision)に対する評価は極めて高い。レーシックも高評価だが、一部に不満が見られるのは、ドライアイによる見え方の質の低下や戻り(近視の再発)が影響している可能性がある。

Q21. 手術前の期待値とのギャップを教えてください。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

全体では、「ほぼ期待通り」「期待以上」「期待を大きく上回った」を合わせた割合が96.7%に達しており、期待水準を概ね満たす結果となっています。

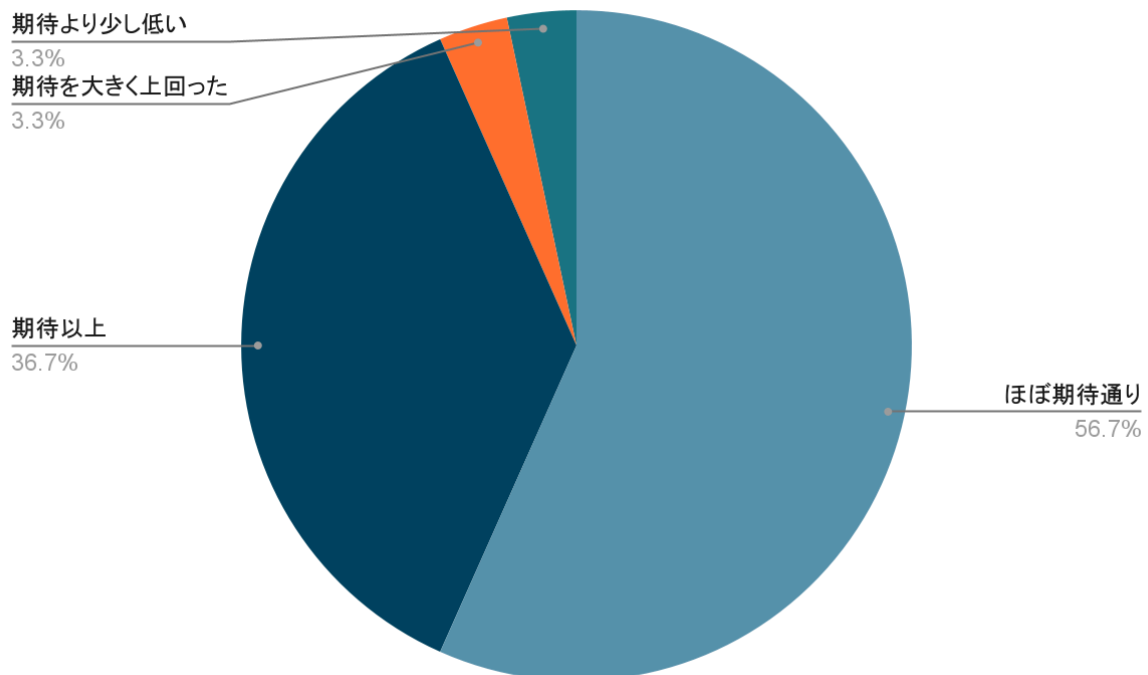
商品別に見ると、ICL群では「期待より少し低い」という回答は0件で、「ほぼ期待通り」(53.8%)と「期待以上」(38.5%)が中心です。

一方、レーシック群では「ほぼ期待通り」(58.8%)が最多で、「期待以上」(35.3%)が続き、「期待より少し低い」が5.9%(1人)見られました。

2) 表データ

期待値 ギャップ	全体割合	全体人数	レーシック割 合	レーシック人 数	ICL割合	ICL人数
ほぼ期待 通り	56.70%	17	58.80%	10	53.80%	7
期待以上	36.70%	11	35.30%	6	38.50%	5
期待を大き く上回った	3.30%	1	0.00%	0	7.70%	1
期待より少 し低い	3.30%	1	5.90%	1	0.00%	0
合計	100.00%	30	100.00%	17	100.00%	13

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

両手術ともに技術的な完成度が高く、事前の期待を裏切らない結果を提供できている。ICLは高額な事前期待に対しても十分な成果(見え方)で応えている。

Q22. 術後に「想定外だったこと」はありますか。

(母数 N=30 / 複数回答)

1) 事実

ICL群では「目薬が大変だった」が38.5%(5件)と高く、レーシック群(17.6%/3件)を上回っています。

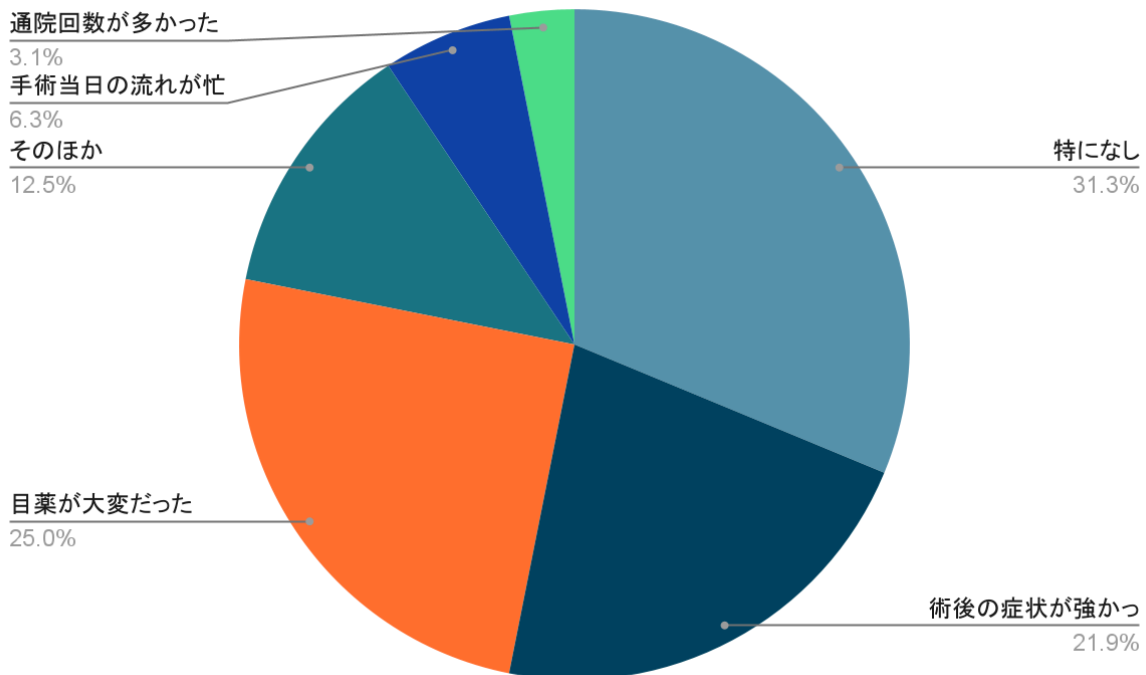
一方、レーシック群では「特になし」が29.4%(5件)で最多となり、想定外の負担を感じなかった層が比較的多い結果です。

全体で見ると、「特になし」が33.3%(10件)と最多である一方、「術後の症状が強かった」(23.3%)や「目薬が大変だった」(26.7%)など、術後ケアや症状に関する負担を挙げる回答も一定数見られます。

2) 表データ

想定外の事象	全体割合	全体件数	レーシック割合	レーシック件数	ICL割合	ICL件数
特になし	33.30%	10	29.40%	5	38.50%	5
術後の症状が強かった	23.30%	7	23.50%	4	23.10%	3
目薬が大変だった	26.70%	8	17.60%	3	38.50%	5
そのほか	13.30%	4	17.60%	3	7.70%	1
当日忙しかった	6.70%	2	5.90%	1	7.70%	1
通院回数が多かった	3.30%	1	5.90%	1	0.00%	0

3) 円グラフデータ



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLは眼内手術であるため感染症予防の点眼管理が厳格であり、それが患者にとって想定外の負担(手間)となっている。手術自体の痛みよりも、術後の生活管理(点眼・保護メガネ等)への備えが重要である。

Q23. そのほかと回答した方は、術後に「想定外だった」と感じたことを具体的に教えてください。

(母数 N=30 / 自由回答)

5) 自由回答(抜粋)

ID	属性	回答内容
4	レーシック	術後の症状が思ったより強かった。 手術当日の流れが忙しかった。
12	レーシック	今もドライアイと、光をまぶしく感じるが続いているため、後遺症と捉えるか、体質が変わったと捉えるかのレベルですが、想定外ではありました。
17	レーシック	術後、目が痛くて開けれなかった。同居人がいない場合、すぐ食べられるものを置いておくの良い
21	レーシック	術後の痛みがとても強く、目を開けても閉じていても涙が止まらなかったこと。

23	ICL	明かりを見た時にすごく眩しく感じることは聞いていたのですが、たまねぎを切った時の痛みが術前の10倍くらいになりました。術後一年たってましになったので一生続くわけではなさそうです。
26	ICL	術後1週間くらいはハローグレアが結構出て、夜の街灯がガラガラして運転怖かったですよ。事前に聞いていたけど、思ったより日常生活に影響あってびっくりしました。あと目薬が1日何回もで、種類も複数あって管理が意外と面倒くさかった。保護メガネも寝る時必須だったし、最初の数日は目がゴロゴロして仕事に集中しにくかったですね。
27	ICL	左目のレンズが回転して乱視ができました。何かしらリスクは有ることは分かっていたが知っておきたかった。

Q24. 手術して良かったと思いますか。

(母数 N=30 / 単一回答)

1) 事実

ICL群では「とてもそう思う」が76.9%(10人)と高く、レーシック群の52.9%(9人)を上回っています。

レーシック群では「そう思う」が41.2%(7人)と比較的多く、「どちらともいえない」は5.9%(1人)にとどまりました。

全体で見ると、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた肯定的評価は**96.7%**に達しており、総合満足度は非常に高い水準です。

2) 表データ

総合満足度	全体割合	全体人数	レーシック割合	レーシック人数	ICL割合	ICL人数
とてもそう思う	63.30%	19	52.90%	9	76.90%	10
そう思う	33.30%	10	41.20%	7	23.10%	3
どちらともいえない	3.30%	1	5.90%	1	0.00%	0
合計	100%	30	100%	17	100%	13

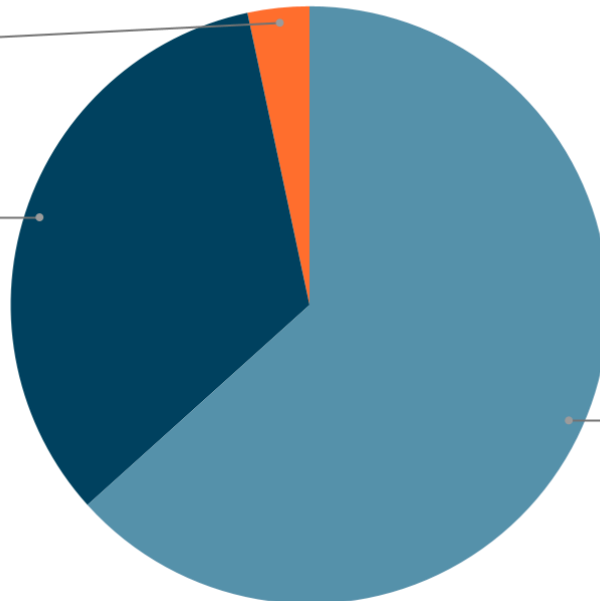
3) 円グラフデータ

得点

どちらともいえない
3.3%

そう思う
33.3%

とてもそう思う
63.3%



4) 結果の解釈(インサイト)

ICLユーザーは高額な費用を負担してもなお、「人生最高の投資」と感じる傾向が強い。レーシックユーザーも満足度は高いが、ごく一部に「どちらともいえない」層が存在する。

Q25. その理由を教えてください。

(母数 N=30 / 自由回答)

5) 自由回答(抜粋)

ID	属性	回答内容
1	レーシック	毎日のコンタクトレンズのケアやコンタクトレンズによる目の不快感から解放されたこと。裸眼でクリアに見えるようになったこと。
2	レーシック	コンタクトや眼鏡の煩わしさから解放され、日常生活が非常に快適になったからです。朝起きてすぐに裸眼で生活できることが大きなメリットで、旅行やスポーツの際もストレスが減りました。
3	ICL	朝起きてすぐクリアに見えるのが本当に快適でストレスが大きく減ったからです。長年コンタクトの乾燥と痛みに悩まされていましたが一切なくなりました。費用は高いですが毎日の負担を考えると価値は十分あったと感じます。夜間のハローやグレアは最初気になりましたが徐々に慣れていき生活に支障はありませんでした。
4	レーシック	視力回復の効果や持続期間、副作用については人それぞれだと思いますが、自分の場合は持続期間が短かったので、少し残念でした。
5	ICL	とてもそう思います。長年コンタクトとメガネに頼っていた生活から解放され、朝起きた瞬間からクリアな視界が広がることに感動しました。術後の痛みや不安もほとんどなく、視力も安定しています。旅行や温泉でも裸眼で過ごせる快適さは、想像以上でした。費用はかかりましたが、それ以上

		の価値があったと心から感じています。
6	レーシック	コンタクトを外したりつけたりする手間がなくなり、朝の準備がとても楽になりました。仕事で乾燥で目が痛くなることも減り、生活全体が少し軽く感じています。 完全に裸眼で過ごせるわけではない日もありますが、以前のような煩わしさがなくなったので、受けて良かったと感じています。
7	ICL	コンタクトの煩わしさから解放され、裸眼で快適に生活できるようになったため。視力も安定しており、日常生活の満足度が上がった。
8	ICL	長年のコンタクトの煩わしさから解放され、朝起きてすぐにクリアな視界が得られるようになったことで、生活の質が劇的に向上しました。特に旅行や温泉、災害時などにコンタクトや眼鏡の心配をしなくて済むようになったことが、精神的な安心感に繋がっています。費用は高かったですが、この快適さと安心感には代えられないと感じ、本当に手術を受けて良かったと思っています。
9	ICL	コンタクトが乾燥でゴロゴロ メガネも目の疲れがありました 見えやすいうえに快適にサイコーです おすすめしたいです
10	レーシック	ハードコンタクトレンズを使用していましたが、特に朝の支度の時の洗浄などが面倒だった。 また、風が吹くと必ずといって良いほど目にゴミが入り、痛かった。 これらの事がなくなった為、大変満足しました。
11	レーシック	コンタクトやメガネが嫌だったとか不快だと感じたことはなかったのですが、親に勧められて何かあった時に目が悪いと不便なことが多いと相談されて今では本当にやって良かったと感じています。
12	レーシック	コンタクトの煩わしさ、コンタクトの費用、眼薬や定期的に病院へ行き視力を計測する手間などがとても煩わしく、解放されるなら手術してしまおうと思った。かなり簡単なノリで受けたことを覚えています。
13	レーシック	今まで眉間に皺を寄せながら景色や書類などを見ていたため、機嫌が悪いと思われがちだったのが、レーシックしたことでボヤけていた景色がはっきり見えるようになり、眉間に皺が寄らなくなったので周りからも話しかけやすくなったと言われるようになったのは良かったなと感じています。
14	ICL	メガネやコンタクトの煩わしさから解放された。またコンタクトは面倒で割と黒ブチメガネに頼っていたので、見た目もすっきりして容姿にも自身がもてた。
15	ICL	眼鏡やコンタクトが不要になり、生活しやすくなりました。また視力検査で視力の低下を気にする事も無くなりました。
16	レーシック	普段はメガネやコンタクトで生活していました。どちらも煩わしさがあり、それがなくなっただけでも満足です。
17	レーシック	気兼ねなく温泉に行けること。産後夜中に起きることが多いが、目えることで子供のお世話がしやすかった。朝の準備が楽になった。
18	ICL	ICL手術を受けて本当に良かったと感じています。長年メガネやコンタクト中心の生活で、目の疲れや乾燥、外出時の不便さに悩まされていましたが、手術後は裸眼でくっきり見える快適さを毎日実感しています。特に朝起きてすぐに視界がクリアなことや、コンタクトのような装着・ケアの手間が一切ない点が大きなメリットでした。また、術後の痛みや違和感も最小

		限で、生活への影響もほとんどありませんでした。視力の安定も早く、今では日常生活だけでなく運転や仕事でもストレスなく過ごせています。総合的に見て、費用以上の価値を感じられる手術だったと強く感じています。
19	レーシック	メガネやコンタクトが必要なくなったことが一番大きい。 また交換する手間や費用も省けたのでメリットしかないと思う。
20	レーシック	毎日コンタクトレンズを装着する手間や、コンタクトレンズを購入する費用から解放されてストレスが軽減したからです。
21	レーシック	日常のコンタクトの管理がなくなり煩わしさが減った。災害時などにも安心なので現時点では満足しているが、今後の経過がどうなるかまだわからないので、一つ評価を下げた。
22	レーシック	見えないものが見えるようになったことが嬉しい 日常生活に支障をきたしたたので見えるようになりとても満足しています。
23	ICL	私はかなり強度の近視で、マイナス10.5程度でした。手術を受けようと思ったきっかけは、この先の30年くらいずっとコンタクトは嫌だなと思ったことと、愛知県在住なのですが、夜中に地震が起きたことがありました。当時息子が生まれたばかりだったのですが、息子を守ろうとしても眼鏡がないと何にも見えない状態(シャンプーとリンスの違いもわからなかった)でメガネでお風呂に入っていたくらいの視力です)で、これは有事の際に息子も私も死んでしまうな、と思ったことがきっかけです。もう小学3年生から近視、小学校5年生でコンタクトレンズをしていたので、コンタクトやメガネなしで生活したいとずっと思っていたことも後押ししました。手術中は麻酔が効いており意識はありますが全く痛くなく、一年以上たち先日一年検診に行きましたが、視力は全く落ちていません。視力もちろんですが、コンタクトの洗浄や装着の手間から解放されて最高です。
24	レーシック	眼鏡を外すと、自分で言うのも何ですが、イケメンになります。しかし、不器用であり、コンタクトレンズの装着が苦手、また、怖いのがあって、レーシックをして良かったです。
25	レーシック	メガネやコンタクトレンズを使用しないで済んでいるので、日々の生活がしやすくなったためです。また、マスクでメガネが曇ることがないためです。
26	ICL	正直、毎日コンタクトを入れるのが本当に面倒くさくて、朝起きてすぐスマホ見たりPC作業したりするのにいちいち探すのが嫌だったんですよ。それがなくなって、起きた瞬間からクリアに見える生活が最高すぎます。強度近視で乱視もあったけど、今は両目1.5以上出て、夜運転しても前みたいにストレスないし。費用はそこそこかったけど、10年コンタクト買い続けるより絶対安いし、何より自由になった感じがたまらないです。もう戻りたくないですね、本当にやってよかったって心底思います。
27	ICL	メガネをしなくても見える。朝起きた瞬間から目が見えることに感動しました。 また、スポーツをするのでサングラスをかけて、マラソンや自転車に乗れる
28	ICL	強度近視だったため、裸眼で生活できるようになったことの快適さが期待を遥かに超えました。朝起きてすぐに視界がクリアなこと、旅行でコンタクトのケアが必要ないこと、災害時も安心なことなど、日常のストレスが劇的に減りました。視力も両目1.5以上出ており、結果に大変満足しています。

29	レーシック	元々視力が悪く特に車を運転する際には不便に感じる事が度々ありましたし、レーシック手術を受けた後には視野が広がり世界観が変わったような印象を受けたので、大変良かったと思っています。
30	ICL	コンタクトを着けたり外したりといった煩わしさから解放され、コンタクトをまとめ買いする手間も費用も発生しなくなった。朝のバタバタが少なくなった。

Q26. 手術を検討する上で、あなたが一番不安だったことと、その理由を教えてください。

(母数 N=30 / 自由回答)

5) 自由回答(抜粋)

ID	属性	回答内容
1	レーシック	もし、失明してしまったらどうしようと言う不安が一番大きく、その次が手術自体の痛みについてでした。手術について説明は受けましたがいいイメージできず不安なことは多かったです。
2	レーシック	失敗リスクが一番不安でした。視力が戻らない可能性や合併症の話をネットで見て心配しましたが、症例数が多い大手クリニックを選んだことで安心できました。
3	ICL	一番不安だったのは失敗リスクでした。眼の手術というだけで怖くて術後に見え方が落ちたり合併症が出ないか心配でした。情報を調べるほど不安が増えましたが症例数が多いクリニックだったので説明を受けて安心できました。実際は痛みも少なく手術時間も短かったので心配し過ぎだったと思います。
4	レーシック	失敗した時に視力が回復しないのはまだよいが、強い副作用がでたり場合によっては失明するのではないかが一番不安でした。
5	ICL	一番不安だったのは、万が一の失明リスクや合併症の可能性でした。目の手術ということで、少しのミスでも大きな影響が出るのではと心配でした。特にICLは眼内にレンズを入れる手術なので、異物感や拒絶反応が出ないかも気になりました。ただ、カウンセリングで丁寧に説明してもらい、症例数の多さや術後保証の手厚さを知って、安心して決断できました。
6	レーシック	一番心配だったのは、手術に伴う痛みと失敗のリスクでした。目の手術というだけで構えてしまうところがあり、事前に色々調べるほど怖さが増していったのを覚えています。特に自分の視力が戻らなかったらどうしようという思いがあり、手術後の生活がどのくらい変わるのか想像しづかったのも不安につながっていました。
7	ICL	目に異物を入れる手術なので安全性や失敗リスクが心配だった。特に手術後の視力の変化や後遺症が出ないか不安だった。
8	ICL	手術の失敗リスクと、手術後に見え方に何か不具合が残る可能性でした。特にICLは目の中にレンズを入れるという行為そのものが怖く、最悪の場合失明するのではないかという懸念がありました。その理由として、レーシックのように元に戻せないわけではないとはいえ、一度手術をすると元々の状態に完全に戻る保証はないため、後悔しないか心配でした。
9	ICL	やはり、目という大切なものに手を加える事でしつめいのリスクや費用面不安要素でしたが説明をしっかり聴きました

10	レーシック	やはり失敗する事です。目が見えなくなったらどうしよう？という不安はずっとありました。 また、術後の帰宅についても無事に帰れるのか不安がありました。
11	レーシック	痛みですかね？手術自体どんなものかわからなかったのと目薬が麻酔で本当に効いてるのか怖かったことを覚えてます。
12	レーシック	術後、再度視力が低下する懸念はありました。一度手術した場合、再手術は受けたくなくなった為です。また身内に糖尿病の祖母がおり、将来の緑内障についても不安はありましたが、ここはあまり考えずに手術に挑んだと記憶しています。
13	レーシック	レーシックの手術に失敗して目がさらに悪くなったり、失明したりこれ以上悪くなったらどうしようと不安がありました。
14	ICL	失敗したら怖い。やってみないとわからないことではあるので、やってみた結果どうなるかわからないというのは何をやるにも怖いことだ。
15	ICL	失敗して目が見えなくなったり、痛みがしばらく続いてしまうリスクに対して不安を抱いておりました。
16	レーシック	手術の失敗はやはり怖かったです。目が見えなくなるかもしれないという恐怖はありましたが、周りに方でやってる方がいて勇気が出ました。
17	レーシック	夫に勧められて、手術を受けたので、痛みがあること知らなかった。知っていたら、手術を受けることをためらってしまったかもしれない。
18	ICL	手術で本当に視力が安定するのか、合併症のリスクはどの程度なのかという点が一番不安でした。特に目の手術は一度行くと元に戻せないため、「万が一うまくいかなかったらどうしよう」という気持ちが強かったです。また、痛みがどの程度なのか、日常生活にどれくらい影響が出るのかも事前にはイメージしにくく、その点も不安につながっていました。
19	レーシック	目を手術することに対する不安はもちろん、術後に後遺症などが出て、見た目や逆に目が悪くならないと少し不安だった。
20	レーシック	本当に手術が成功してコンタクトやメガネがいらない生活になるのかどうかや、術後の副反応などが不安でした。
21	レーシック	失明、視力の低下など手術の失敗。補償があっても一度失明すれば回復は不可能なので、目のことなのでとても怖かった。
22	レーシック	手術失敗したら目が見えなくなるのじゃないのかというのがとても心配で怖かった。見えなくなったらもととこもないなってかんじだった。
23	ICL	一番不安だったことは費用面と、万が一の失敗でした。しかしこのクリニックの先生方はみなさん非常に物腰が柔らかく、私の細かい質問にも丁寧に答えてくださいました。手術中にも「今何してる場所ですか？」と目を切られながら問いかける私に答えてくださり感謝です。
24	レーシック	痛さです。しかし、父親が丁度、白内障のオペをしました。オペ中は、万華鏡を見ている様だったという感想を聞き、安心した覚えがあります。
25	レーシック	手術が無事に終わるか手術ミスが起きないかが、とても不安でした。また、副作用がどれくらいでるのかも不安でした。
26	ICL	一番不安だったのは失敗リスク、特に失明とか重い後遺症が出るんじゃないかってことでした。ネットで悪い体験談とか見ちゃうと怖くなるんですよね、角膜削るレーシックじゃなくてICLにしたのも取り出せるって聞いたからなんですけど、それでも眼内にレンズ入れるって考えるとビビりました。
27	ICL	手術してくれた先生がしてくれたので特に不安はありませゆてました。しかし、

		手術自体が初めてだったので得体が知れないことが不安でした。
28	ICL	一番不安だったことは、手術後の夜間視界、特にハローやグレアといった症状が残る可能性と、それが仕事に支障をきたすことでした。レーシックと違い、ICLは角膜を削らないとは言え、眼内に異物を入れることへの抵抗もあり、万が一の失敗リスクを恐れていました。
29	レーシック	レーシック手術では失敗をしたり期待していたよりも視力が戻らない事もあると聞いていたので、効果に関しては非常に不安でした。
30	ICL	失敗するリスクや感染症の危険性。実際に手術を受けた人の中には、ドライアイや治まらない頭痛に悩まされ、後悔している人もいとネットで見たことがあったから。

Q27. クリニックを選んだ決め手について、具体的なエピソードを教えてください。

(母数 N=30 / 自由回答)

5) 自由回答(抜粋)

ID	属性	回答内容
1	レーシック	一番の決め手は費用だったとお思います。ただ安いというだけでは不安だったので、今まで何件くらいそのクリニックでレーシック手術が行われているかも調べました。
2	レーシック	友人が同じクリニックで手術を受けて「説明が丁寧で安心できた」と話していたことが大きな決め手でした。実際にカウンセリングを受けた際も、検査結果を細かく説明してくれたので信頼できました。
3	ICL	適応検査の説明がとても丁寧で疑問にすべて答えてくれたことが大きかったです。ICLは高額なので信頼できるかどうかが最重要でした。検査時に担当の方が自分の体験談も共有してくれ不安が減りました。他のクリニックでは流れ作業的に感じたため先進会眼科が一番安心できました。
4	レーシック	知人からの紹介クーポンで施術料金が安くなることに加えて、症例数がおおく、口コミも悪くなかったことが決め手になりました。
5	ICL	知人が同じクリニックでICL手術を受けて「とても丁寧で安心できた」と話していたのがきっかけでした。実際にカウンセリングを受けた際、医師が私の目の状態や手術のリスクについても誠実に説明してくれたことで、信頼できると感じました。症例数の多さや術後保証の手厚さも決め手になりました。
6	レーシック	最終的に決めたのは、説明を受けた時の安心感でした。他のクリニックよりも検査が丁寧で、細かい疑問にも落ち着いて答えてくれたのが印象に残っています。 費用面も分かりやすく、追加料金がかかる条件も最初にはっきり説明してくれたので、ここなら大丈夫そうだと感じました。
7	ICL	カウンセリングで丁寧に検査の説明を受け、症例数や実績を見せてもらったことが安心感につながった。スタッフの対応も非常に親切で、決めやすかった。
8	ICL	適応検査の際に担当の医師やスタッフの方々がICLの仕組みやリスクについて時間をかけて丁寧に説明してくれたことです。特に、他院では費用ばかりを強調されたのに対し、こちらのクリニックでは、私の目の状態を考慮し、リスクを隠さずに話してくれたため、信頼できると感じました。大手で症例数が多かったことも、技術的な安心感に繋がりました。

9	ICL	友達に教えてもらい紹介制度や 友達からの感想そして満足感で選びました 自分だけでは決められなかったと思います
10	レーシック	目の検査のにて、角膜の厚みの問題がありました。自分は少し薄いようで、 それでも可能という結果が出た為、これが決め手になりました。
11	レーシック	昔から通っていた眼科の先生で地方でしたがそこでは一番大きな眼科で レーシックをいち早く取り入れた方でした。
12	レーシック	当時、身近な先輩が転職し、品川近視クリニックの受付にいた。元々気にな っていたのもあったが、紹介割引もあり、レーシックを決めた。
13	レーシック	フジモト眼科は土日祝日でも営業しており、仕事終わりが遅い自分でも休みの 日に通うことができるのは良かったなと感じています。カウンセリングの段階 でスタッフの対応や医師の言葉遣いなども好印象だったので選ばせてもら いました。
14	ICL	YouTuberマコなり社長の動画を好きでよくみていた。彼がおすすめしていた ので、クリニック選びも含めてそこにした。
15	ICL	口コミが良かったので選びました。実績も豊富な上、ホームページも分かり やすく安心して任せる事が出来たと思いました。
16	レーシック	普段からお世話になってる腕の良い評判のクリニックなので、迷わずそこにお 世話になるの決めました。症例も多く安心でした。
17	レーシック	当時は名古屋で2箇所しか受けられなかったと思います。今だったら、家から 近いところを選んでいと思います。
18	ICL	最終的にこのクリニックを選んだのは、カウンセリングが非常に丁寧で、どん な質問にも時間をかけて答えてくれたからです。他院では説明が簡略的で 流れ作業のように感じたのに対し、ここでは検査結果を一つひとつ見せなが ら自分の目の状態を詳しく説明してくれました。また、無理に手術を勧める雰 囲気がなく、安心して任せられると感じたことが大きな決め手でした。
19	レーシック	周りでレーシックをやった人が、全員このクリニックで受けており、このクリ ニック以外の選択肢はなかった。
20	レーシック	大手のクリニックで症例数が多くて安心感があつたし、クリニックが自宅から 通いやすい場所にあつたのが決め手です。
21	レーシック	安さ、症例数で他と比較していた中、もともと通っていたSBCの系列だと分か り、溜まったポイントが使えたり、また20万以上の高額な手術なのでポイ ントが溜まるのがよかった。
22	レーシック	初めてのICL手術で不安が大きかったため、複数のクリニックを比較しまし た。最終的にこのクリニックを選んだのは、カウンセリングの際に丁寧にリス クや術後の生活について説明してくれたことが決め手です。特に「術後の見え 方には個人差がある」と正直に話してくれた姿勢に信頼を感じました。
23	ICL	口コミが良かったことが一番です。おそらく少し割高ではあった(安くはない) のですが、アフターサービスが充実していたことや、病院から徒歩30秒の ところにホテルがあつたり、もし泊まらないならタクシーを手配しますよと言 ってくださったりと、非常に安心した状態で手術当日を迎えることができました。
24	レーシック	品川美容外科は、二重の手術も経験があり、その際に近視クリニックもある 事を知りました。なので、他院は視野に入りませんでした。
25	レーシック	自宅から近いので、手術の当日に帰宅することができることが決め手でし た。また、アフターケアもあったので、決めました。

26	ICL	最初は近場のクリニックも考えたんですけど、ネットで症例数調べてたら品川近視クリニックがダントツで多くて、ここなら安心かなって。適応検査行ったらスタッフさんがめっちゃ丁寧に説明してくれて、先生も「あなたの目はICLに向いてますよ」ってデータ見せながら言ってくれたんです。あと費用が他より安めで、立地も有楽町で仕事帰りに行きやすかったのが大きかったですね。
27	ICL	先生がロードバイク仲間でしていたメガネを見て「そのレンズの分厚さだと視界が歪んで見えてるよ」と伝えられオススメされたこと決断。
28	ICL	適応検査の際に担当してくれた医師の丁寧な説明と、質問に対する明確な回答でした。他のクリニックでは流れ作業のように感じましたが、ここでは私の強度近視の状況を詳細に分析し、ICLのメリットだけでなく、ハローやグレアのリスクについても包み隠さず説明してくれました。この誠実さと、豊富な症例数が信頼に繋がりました。
29	レーシック	同僚が実際にそのクリニックでレーシック手術を受けており、その方からの良い情報を様々に聞いたのが最も決め手になりました。
30	ICL	ICLの症例数が豊富で、オペに慣れていると感じられたことや、手術費用に検査代やオペ後の診察料も含まれていて、トータルで見ると安いと感じられたら。

Q28. 術後に「これは知っておけばよかった」と思ったことを教えてください。

(母数 N=30 / 自由回答)

5) 自由回答(抜粋)

ID	属性	回答内容
1	レーシック	その時はとにかく裸眼で見えるようになりたい！という思いが強く手術後のことをほとんど調べずに手術をしてしまいました。手術後は何日間か顔も洗うことができず頭も洗えなかったのも、それらも先に分かっていたら季節なども選んだかもしれません。
2	レーシック	点眼薬の回数が多く、外出時に持ち歩く必要があることを事前にもっと理解しておけば良かったと思いました。
3	ICL	目薬の回数が多く外出時に持ち歩く必要があることをもっと意識しておけば良かったです。最初の数日は眩しさを感じやすく夜間の見えづらさもあり運転は控えた方が安全だと思いました。仕事は翌日から可能でしたが乾燥しやすいのでパソコン作業はこまめに休憩すると楽でした。
4	レーシック	術後の副作用(ハロー、グレア)について、もう少し真面目に考えておけば良かったです。今は術前の視力に戻ってしまいましたが副作用だけが続いている状態です。
5	ICL	術後すぐは視界が少しぼやけたり、光がにじんで見えることがあると聞いてはいましたが、実際に体験すると想像以上に気になりました。特に夜間の運転では光がまぶしく感じられたので、術後しばらくは予定を調整しておけば良かったと感じました。時間とともに改善しましたが、事前にもっと具体的にイメージしておけば安心できたと思います。
6	レーシック	点眼の回数が意外と多く、仕事の日には持ち歩く必要があった点は事前にもっと意識しておけば良かったと思いました。また、夜の光が少しにじんで見える期間がしばらく

		続くことも、経験してみても初めて実感した部分でした。生活に支障が出るほどではありませんが、構えておくと気が楽だったと思います。
7	ICL	術後数日はドライアイやまぶしさが出ることもあるため、目薬や保護用コンタクトの準備を事前に知っておくと安心。
8	ICL	術後に出るハローやグレアといった光の見え方の異常が、夜間の運転時や暗い場所で思っていたよりも強く出ることです。もちろん慣れると説明は受けていましたが、実際に体験すると夜間の街灯や対向車のライトが非常に眩しく感じ、回復するまでの数ヶ月間は夜間の外出を抑える必要があったため、事前にその期間や程度についてもっと具体的に知っておけば良かったと思いました。
9	ICL	特に思い浮かばないですが、他の医院も調べてみたりしていても良かったのかなと費用面でおもいましたがそこまではです。
10	レーシック	割引券や紹介制度があることを後から知りました。術後に友人から後から聞いて、少し損をした気分になりました。
11	レーシック	しっかりした眼科だったので術後も丁寧な説明や生活の仕方など全て教えてもらったので不安はありませんでした。
12	レーシック	ドライアイのリスクがこれほどだとは思っていなかったため、ちゃんと調べるべきだったと痛感しました。私は比較的な安易なノリで手術を受けてしまったので、正直、本当に後遺症レベルなのかはわかりませんが、ドライアイに悩んでいるのは事実です。目薬も手放せません。調べ過ぎると不安になりますが、リスクは知った上で手術に臨むべきでした。しかし、レーシックの手術自体には後悔していません。
13	レーシック	レーシックの成功率が約95%であるということ、ネット検索で調べた時に知り、5%の確率で失敗していたことを考えるとレーシックをしていなかったかもしれないなと思いました。
14	ICL	手術前の検査がとても長い。日帰りで出来たのは良かったが、9-15時とかかったのもお腹が空いた。
15	ICL	クリニックによってアフターフォローや料金が異なるので、いくつかのクリニックを比較してから決めれば良かったです。
16	レーシック	術後もメンテナンスが必要でそれが少し面倒ということは知っておけば良かったです。もう少し心の準備ができました。
17	レーシック	手術を受けた夜、目が痛くて開けられなかったのも、同居人がいない場合、すぐ食べられるものを置いておくと良いと思います。
18	ICL	術後しばらくは乾燥しやすく、こまめな目薬が必要になることをもっと意識しておけば良かったと思いました。また、個人差はあるものの、完全に見え方が安定するまでには数週間かかることがあり、焦らず経過を見守ることが大切だと感じました。手術自体は短時間で終わりますが、その後のセルフケアや通院が意外と大切で、そこまで含めて準備しておけばより安心できたと思います。
19	レーシック	術後の目の渇きが想像以上にすごくて、当日から次の日くらいまで目がしぶしぶしていたので、事前に心構えとして知っておきたかった。
20	レーシック	手術したら一回くらい通院すればいいのかと思っていたら、数日、数週間、数ヶ月単位で通院しないといけないことです。
21	レーシック	特にありませんでした。強いて言えば医療費控除の対象になるので、色々準備しておけば申請に困らないと思う。
22	レーシック	術後すぐは光に敏感になり、外出時にサングラスが必須になるとは思っていませんでした。特に晴れた日では眩しさが強く、目を開けるのもつらいほどでし

		た。
23	ICL	明かりを見た時にすごく眩しく感じることは聞いていたのですが、たまねぎを切った時の痛みが術前の10倍くらいになりました。術後一年たってましになったので一生続くわけではなさそうです。
24	レーシック	一度手術をしたら、半永久的に、視力が回復をし、継続をするものと思っていたのですが、実際は視力低下がある事です。
25	レーシック	ハローなどの術後の症状をあまり詳しく調べていなかったなので、そのあたりをもっとしっかり調べておけば良かったです。
26	ICL	術後1週間くらいはハローグレアが結構出て、夜の街灯がガラガラして運転怖かったんですよ。事前に聞いていたけど、思ったより日常生活に影響あってびっくりしました。あと目薬が1日何回もで、種類も複数あって管理が意外と面倒くさかった。保護メガネも寝る時必須だったし、最初の数日は目がゴロゴロして仕事に集中しにくかったですね。
27	ICL	左目のレンズが回転して乱視がでました。何かしらリスクは有ることは分かっていたのですが知っておきたかった。
28	ICL	術後、ハローやグレアといった夜間視界の症状が半年以上続く可能性があることです。クリニックからは説明がありましたが、実際に体験すると、思っていた以上に強く感じ、最初の数ヶ月は車の運転に不安が残りました。症状は徐々に軽減しましたが、回復には個人差があり、長期間かかることを、より深く理解しておくべきでした。
29	レーシック	個人差はあると思いますが、レーシック手術を受けた後の通院しなくてはいけない回数や条件を知っておけば良かったと思いました。
30	ICL	勧められた度数を鵜呑みにして受け入れるのではなく、生活環境や仕事内容によって、自身に最適と思うものを選んだ方が、術後の見え方に慣れるまでの期間が短くて済む。より良くくっきりはっきり見えるから快適とは限らない。

Q29. 手術を検討している人に伝えたいアドバイス・体験談があれば自由にお願ひします。

(母数 N=30 / 自由回答)

5) 自由回答(抜粋)

ID	属性	回答内容
1	レーシック	手術をする部位が目だけに色んな不安があると思いますが、手術が終わって起き上がった瞬間から世界が変わります！！ コンタクトレンズのゴロゴロ感やメガネに毎日悩ませているならレーシックで全て解放されるのでオススメです。ただ術後に出る症状などはよく理解して行ったほうがいいと思われます。
2	レーシック	費用や効果だけでなく、術後のケアや通院の負担も含めて考えることが大切です。症例数が多いクリニックを選ぶと安心感があり、術後の不安も軽減されます。裸眼で生活できる快適さは大きなメリットなので、迷っている方は一度カウンセリングを受けてみることをおすすめします。
3	ICL	費用は高いですが毎日のコンタクトの負担が大きい人には大きなメリットがあります。最初のハローやグレアは多くの人が経験しますが時間とと

		<p>もに改善します。クリニック選びは症例数と検査の丁寧さを重視すると安心です。不安な点は遠慮せず質問した方が後悔しないと思います。</p>
4	レーシック	<p>保険診療外の医療行為であり、施術する施設については慎重に検討された方がよいと思います。</p> <p>また、視力の回復や持続期間、副作用の強さについては人それぞれだと思うので、どういう結果になっても受け止める気持ちを持っておいた方がよいと思います。</p>
5	ICL	<p>ICL手術は「目の中にレンズを入れる」と聞いて最初はとても不安でしたが、実際は痛みも少なく、術後の視界のクリアさに感動しました。朝起きてすぐに見える生活は本当に快適です。術後しばらくは光のにじみが気になりましたが、徐々に慣れてきました。不安なことはカウンセリングでしっかり相談できるので、迷っている方はまず検査だけでも受けてみると良いと思います</p>
6	レーシック	<p>手術そのものは短時間で終わりますが、事前検査や術後のケアを含めて考えると、全体の流れを理解しておくで安心できます。痛みに関しては想像より軽く、術後の違和感も時間とともに落ち着いていきました。自分の目の状態によって選べる手術が変わるので、まずは相談してみると不安が和らぎます。コンタクトの煩わしさから解放されるだけでも生活が変わるので、前向きに考えてみても良いと思います。</p>
7	ICL	<p>手術は初めてで不安もありましたが、クリニック選びを慎重に行い、症例数や口コミをしっかり確認することで安心して受けられました。視力が安定するまで数週間かかることもありますが、裸眼で快適に過ごせる喜びは大きいです。</p>
8	ICL	<p>ICLは費用が高く、手術への不安も大きいと思いますが、コンタクトや眼鏡の悩みから解放されるメリットは本当に大きいです。費用対効果を考えれば、私は受けて良かったと心から思っています。ただ、クリニック選びは価格だけでなく、適応検査や説明の丁寧さ、特に術後の保証内容をしっかり比較検討してください。術後のハロー・グレアは出ますが、数ヶ月で慣れますので心配しすぎず、視界がクリアになる新しい生活を楽しんでほしいです。</p>
10	レーシック	<p>やはり自分の意思で決める事が重要だと思います。自分の場合は大変満足でしたが、人によっては痛みなどがあり、後悔する可能性があることを理解しておくべきです。</p>
11	レーシック	<p>世界が変わります。絶対した方が良いですが病院選びは大切です。費用が安いからとケチると術後大変なことになるのでできるだけ調べてください。</p>
12	レーシック	<p>現在のコンタクトや見えない煩わしさは手術すれば、かなり楽になります。ただ、どんな後遺症があるかは人それぞれ。私はまだ軽い方だと思いますが、眼薬は手放せないようになりました。コンタクトをしていたとしても、このドライアイは進行したかもしれませんが。どんなに安心をうたっていても、人それぞれの経過は分からないという事実を踏まえて、調べて覚悟して、手術を受けてほしいと思います。</p>
13	レーシック	<p>レーシックの手術をすることで、はっきりと景色や人、物などが見えるようになり、別世界に生きているみたいに感じます。しかし、成功率が100%ではないため、失敗した時のリスクがあることを頭に入れておいた方が良いでしょう。</p>
17	レーシック	<p>手術を考えているなら、出産前にすべきです。小さい子供がいる場合、受けられないと思うから。</p>

22	レーシック	やってみるのがいいと思います！
26	ICL	俺みたいにWEBエンジニアで毎日PCガン見してる人は絶対おすすめですよ。コンタクトの乾燥とか眼鏡のずれがなくなって、作業効率爆上がりしました。ただクリニックは絶対複数比べて、症例数多いところを選んでください。品川近視は安くて早いけど混んでるから予約は余裕持って。術後はハローグレア出る人多いけど、だいたい1?3ヶ月で気にならなくなるんで我慢です。
27	ICL	気になってるなら早く調べてしたほうがよい。金額が高いですが自己投資としてはコスパがとにかく良いことを伝えたいです。
28	ICL	ICLは高額ですが、QOL向上効果は費用対効果を大きく上回ると断言できます。ただし、クリニック選びは費用よりも医師の経験と検査の丁寧さを重視してください。また、術後のハローやグレアはほとんどの人に出ますが、必ず軽減しますので焦らないでください。手術前は必ず複数のクリニックで適応検査を受け、疑問点を全て解消してから決断することをお勧めします。

5. 商品・サービス別サマリー

レーシック(LASIK)の傾向

- 費用重視・手軽さ: 10~30万円での実施が多く、コンタクトの不快感解消を主な目的としている。
- 地域の眼科も選択肢: 大手クリニックだけでなく、地元の眼科での施術も一定数存在する。
- 副作用: ドライアイのリスクがICLより高く、術直後の目の痛みや乾燥に対する備えが必要である。

ICL(眼内コンタクトレンズ)の傾向

- 品質・安全性重視: 50万円以上の高額費用を許容し、失敗リスクの低減や可逆性、見え方の質を求めている。
- 大手専門院への集中: 施術は品川近視クリニック等の大手専門院に集中しており、クリニック選びでは「検査の丁寧さ」「保証」が重視される。
- 副作用: ハロー・グレア(光の輪・眩しさ)がほぼ必発であり、術後の点眼管理や通院頻度が高い。

6. アンケート全体のまとめ

本アンケート調査の結果から、ICLとレーシックの選択において、費用とリスクに対する考え方が明確に二極化していることが確認された。

1. 費用の境界線:
データ上、30万円を境にレーシックとICLの選択が分かれている。費用を抑えたい層はレーシックを、初期投資が高額でも長期的なメリット(可逆性・角膜温存)を重視する層はICLを選択するという構造が明らかである。

2. リスクへの懸念と対応：
レーシック検討者は「失敗（視力が出ないこと）」を懸念する一方、ICL検討者は「異物を入れることへの不安」を持つ傾向がある。しかし、ICLは「再手術可能（レンズ交換・抜去）」という特性が、最終的な安心材料として機能していることが自由回答から読み取れる。
3. 術後の生活への影響：
どちらの手術も9割以上が高い満足度を示しているが、術後の付き合い方に違いがある。レーシックは「ドライアイケア」、ICLは「光の見え方（ハロー・グレア）への慣れ」がそれぞれ必要となる。

結論として：

本調査データは、短期的なコストパフォーマンスを重視する場合はレーシックが、長期的な視力維持・安全性・万が一の際の可逆性を重視する場合はICLが、それぞれのユーザーニーズを満たしていることを示している。特にICLは、費用対満足度において極めて高い評価を得ており、予算が許す場合の有力な選択肢となっている。

7. 関連情報

- 詳細記事・解説: <https://honbe-clinic.jp/lasik/lasoc-icl/>